

令和5年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果

鹿児島市

・ 第4回

- 1 市民活動について（市民協働課）
- 2 食育について（保健政策課）
- 3 ペットに関する意識調査について（生活衛生課）

目 次

I	調査の概要.....	1
II	市民活動について.....	4
III	食育について.....	22
IV	ペットに関する意識調査について	34

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか、通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日

(4) 人数

401 人（第 4 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第4回調査の概要

(1) 調査概要

テーマ/担当課	市民活動について	市民協働課
	食育について	保健政策課
	ペットに関する意識調査について	生活衛生課
調査期間	令和5年12月12日～令和6年1月5日	
回答率	72.3% (290人)	

(2) 回答者属性

① 性別

選択肢	回答数	割合
男	92	31.7%
女	193	66.6%
その他・答えたくない	4	1.4%
無回答	1	0.3%
サンプル数	290	100.0%

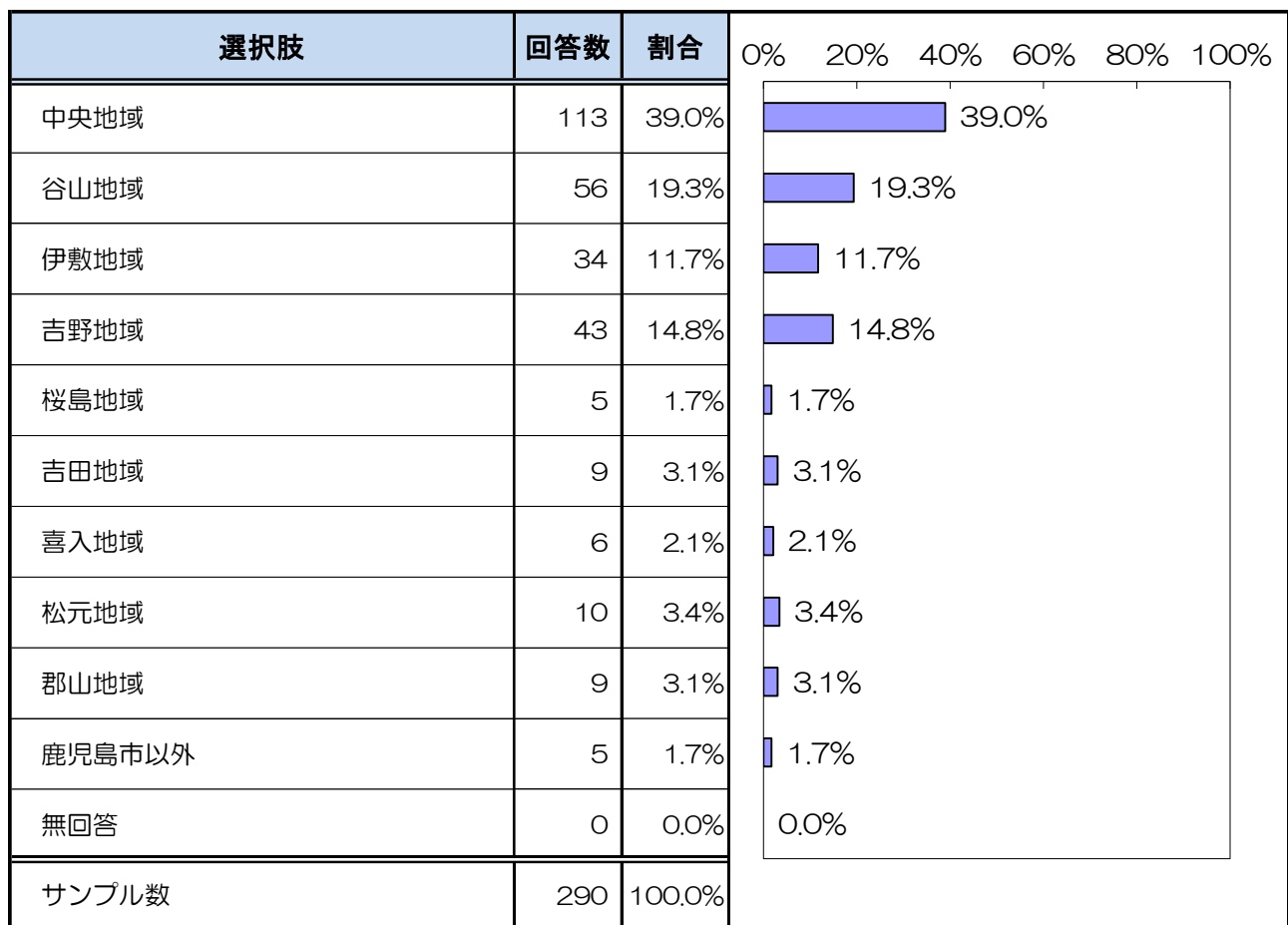
A pie chart illustrating the gender distribution of respondents. The largest segment is '女' (Female) at 66.6%, followed by '男' (Male) at 31.7%, and 'その他・答えたくない' (Other/Don't want to answer) at 1.4%.

② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	39	13.4%
30歳代	89	30.7%
40歳代	71	24.5%
50歳代	46	15.9%
60歳代	28	9.7%
70歳以上	17	5.9%
無回答	0	0.0%
サンプル数	290	100.0%

A pie chart illustrating the age distribution of respondents. The largest segment is '30歳代' (30s) at 30.7%, followed by '40歳代' (40s) at 24.5%, '18歳～29歳' (18-29) at 13.4%, '50歳代' (50s) at 15.9%, '60歳代' (60s) at 9.7%, and '70歳以上' (70+) at 5.9%.

③ 居住地域



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。
- ・ 不適切な表現がみられた意見については、一部削除しています。

Ⅱ 市民活動について

1. 調査の目的

鹿児島市では、昨年からスタートした第六次総合計画の中で、「信頼とやさしさのある共創のまち」を基本目標の一つに掲げ、市民が主役の鹿児島市の実現を基本に、市民や、NPO法人等の市民活動団体、事業者など多様な主体が、協働・連携し、新しい価値をともに創るまちづくりを進めていくこととしています。

今後の施策等の参考とするため、市民の皆様には市民活動への参加状況等についてお聞きするアンケート調査を実施しました。

2. 調査結果を受けて担当課（市民協働課）からのコメント

市民活動について、多くのご回答やご意見をいただき誠にありがとうございます。

市民活動については、半数の方が経験されており、そのうち約8割の方が町内会などの地域組織の活動に参加したと回答されました。市民活動を行ったことがない理由としては、「きっかけや機会がない」が63.8%と最も高く、次いで、「忙しくて時間がない」、「活動に関する情報が得られない」の順となりました。

また、市民活動に関心がある方は65.6%、今後市民活動に参加や協力をしたいと思う人は、「出来る範囲であれば参加・協力したい」も含めると81.7%と非常に高い結果となりました。

今後、市民活動を行いやすい環境づくりを進めるために重要なこととして、「時間等の制約が緩和され、自分の生活に合わせて活動できること」、「各種情報が容易に入手できること」、「気軽に市民活動団体の活動に参加できること」が挙げられ、自由意見では、どんな市民活動団体があり、どのような活動をしているかが分からないという声が多く寄せられました。

市民活動に関する情報発信については、現在鹿児島市HPや市民協働課Facebookで行っておりますが、今回の調査結果を参考に、今後市民活動を活性化させる取組を検討してまいります。

3. 調査結果

問1 あなたは、これまでに市民活動を経験したことがありますか。

(ひとつだけ)

「現在行っている」が20.3%、「現在は行っていないが、以前行ったことがある」が31.0%、「これまで行ったことがない」が48.6%となっている。

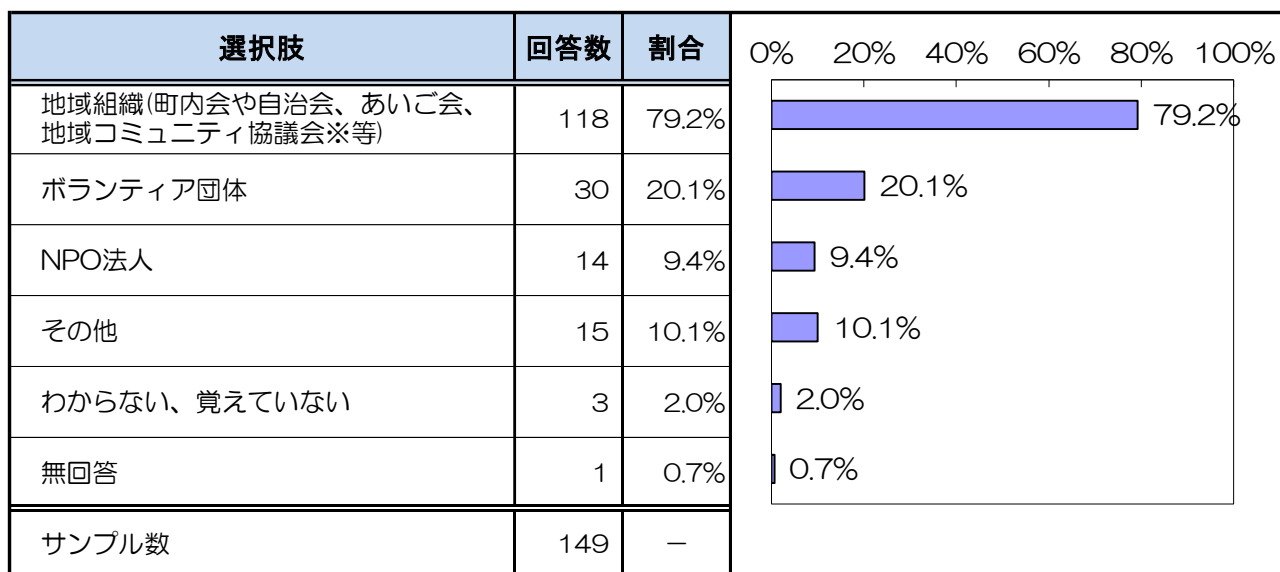
選択肢	回答数	割合
現在行っている	59	20.3%
現在は行っていないが、以前行ったことがある	90	31.0%
これまで行ったことがない	141	48.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	290	100.0%

選択肢	割合
現在行っている	20.3%
現在は行っていないが、以前行ったことがある	31.0%
これまで行ったことがない	48.6%
無回答	0.0%

問2 【問1で「現在行っている」または「現在は行っていないが、以前行ったことがある」のいずれかを選んだ方（市民活動を経験したことがある方）にお伺いします。】

あなたは、どのような団体の市民活動に参加されましたか。
（いくつでも）

「地域組織(町内会や自治会、あいご会、地域コミュニティ協議会※等)」が79.2%と最も高く、次いで、「ボランティア団体」の20.1%、「その他」の10.1%の順となっている。



※ 地域コミュニティ協議会とは、町内会やあいご会、高齢者クラブ、NPO、福祉施設など、小学校区内で活動している各種団体が、連携・協力して地域課題へ取り組むために設立された組織です。

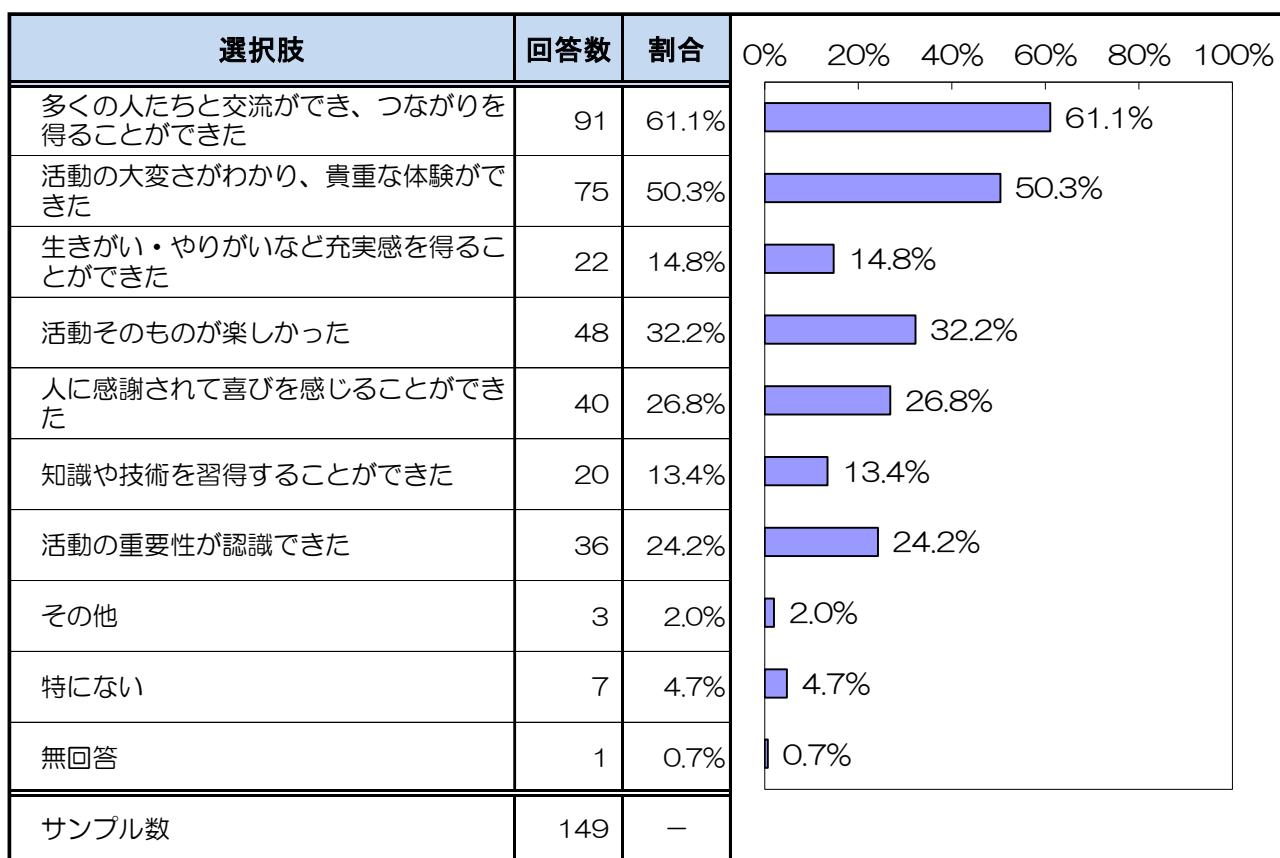
◆その他の回答（原文まま）

- ・ イベント事業
- ・ おごじよ会秋まつり、吉田地域運動会、あいご会十五夜、コミュニティ協議会
- ・ 個人でボランティア活動
- ・ マジックショーのボランティア歴、55年。
- ・ ミューFMの海岸清掃
- ・ 公益社団法人鹿児島法人会
- ・ 会社のボランティア活動
- ・ 会社の有志による清掃ボランティア
- ・ 国体や見守り
- ・ 子供食堂に月一回、食糧を届けて、クリスマスに本を届けています。
- ・ 寺泊のゴミ拾いボランティア
- ・ 自主活動
- ・ 鹿児島国体ボランティア
- ・ 文化活動
- ・ 労働組合による、最低賃金引き上げについて。

問3 【問1で「現在行っている」または「現在は行っていないが、以前行ったことがある」のいずれかを選んだ方（市民活動を経験したことがある方）にお伺いします。】

あなたが市民活動を行って良かったと感じられたことは何ですか。
（いくつでも）

「多くの人たちと交流ができ、つながりを得ることができた」が 61.1%と最も高く、次いで、「活動の大変さがわかり、貴重な体験ができた」の 50.3%、「活動そのものが楽しかった」の 32.2%の順となっている。



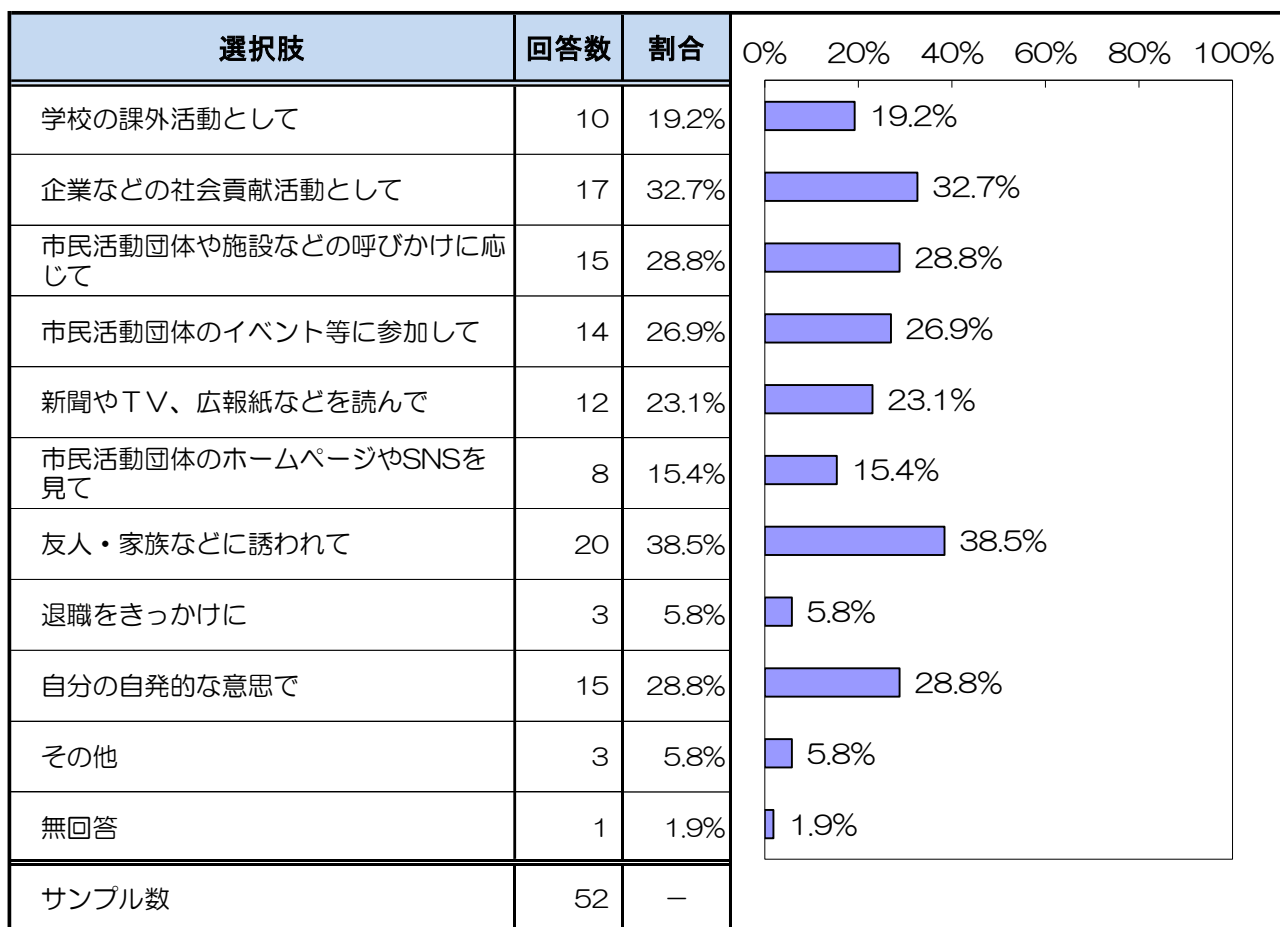
◆その他の回答（原文まま）

- ・鹿児島では、自治体（県、市町村）が如何に仕事を行っていないか（サボっている）かが良く理解できる事。又、自治体からの正式な情報にも多くのフェイクが入っていることが分かる事。
- ・地域活性化して欲しいとの願い。
- ・付き合いで入っているが、正直必要性を感じない。会費だけ取られ子供に還元もなく、高齢者に消費される。

問4 【問2で「ボランティア団体」「NPO法人」「その他」のいずれかを選んだ方にお伺いします。】

あなたが地域組織以外で市民活動を行うようになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

「友人・家族などに誘われて」が38.5%と最も高く、次いで、「企業などの社会貢献活動として」の32.7%、「市民活動団体や施設などの呼びかけに応じて」「自分の自発的な意思で」の28.8%の順となっている。



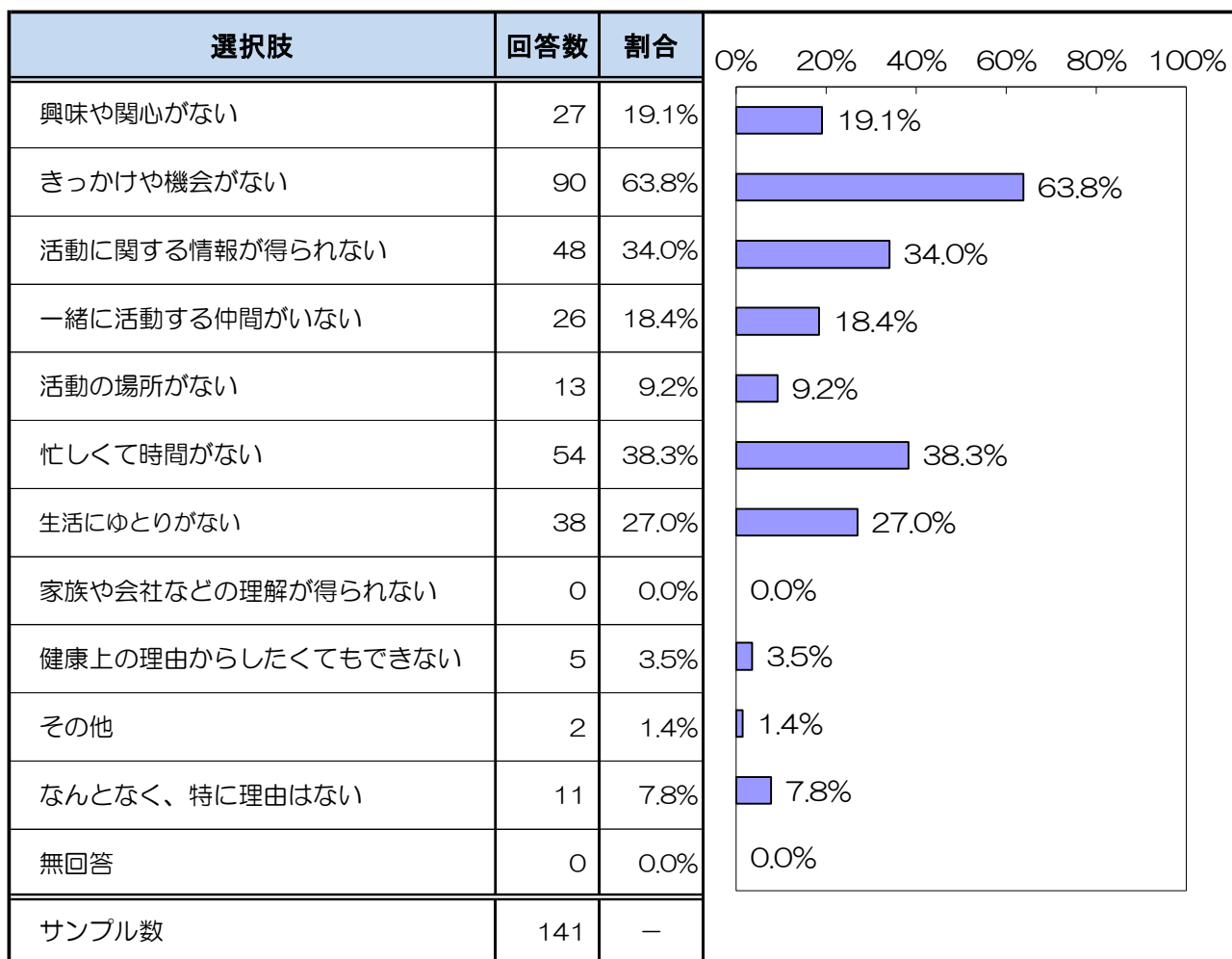
◆その他の回答（原文まま）

- ・地域の現状、実情を知って。
- ・自治会の高齢化が進み、仕方なく行っている。それなのに、TOP3役は高齢者が手放さない。仕事と両立できない（時間が無い）ので、本当はやりたくない。
- ・人を信頼して自然にやりたと思った

問5 【問1で「これまで行ったことがない」を選んだ方（市民活動の経験がない方）にお伺いします。】

あなたが、これまでに市民活動を行ったことがない理由は何ですか。
（いくつでも）

「きっかけや機会がない」が63.8%と最も高く、次いで、「忙しくて時間がない」の38.3%、「活動に関する情報が得られない」の34.0%の順となっている。



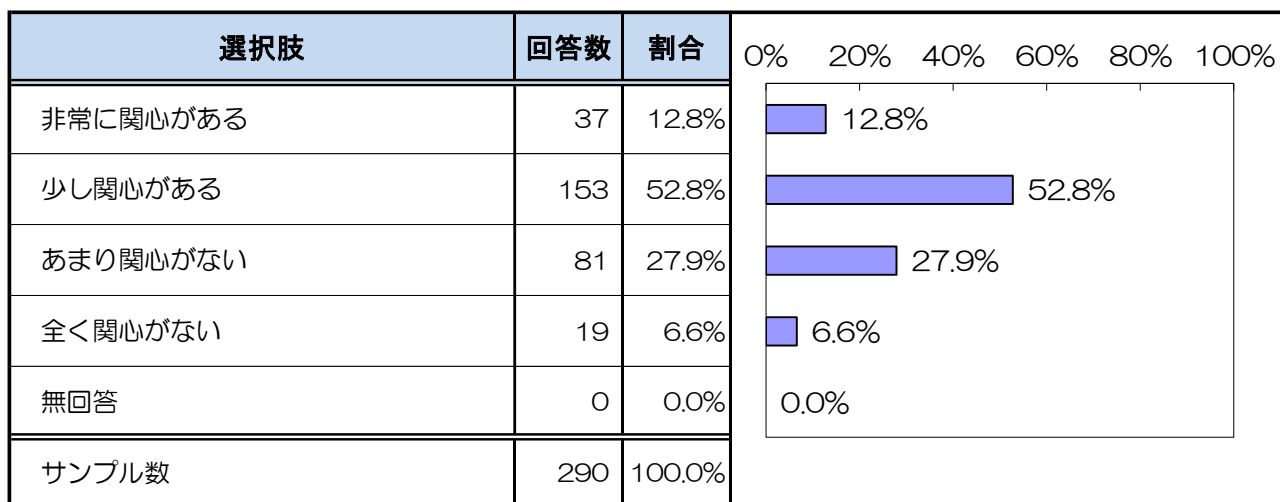
◆その他の回答（原文まま）

- ・交通が不便、遠い。
- ・団体行動や組織に所属することを好まない。ひとりで自主的にやる活動はできる

問6 【問6からはすべての方にお伺いします。】

あなたは、市民活動にどの程度関心がありますか。(ひとつだけ)

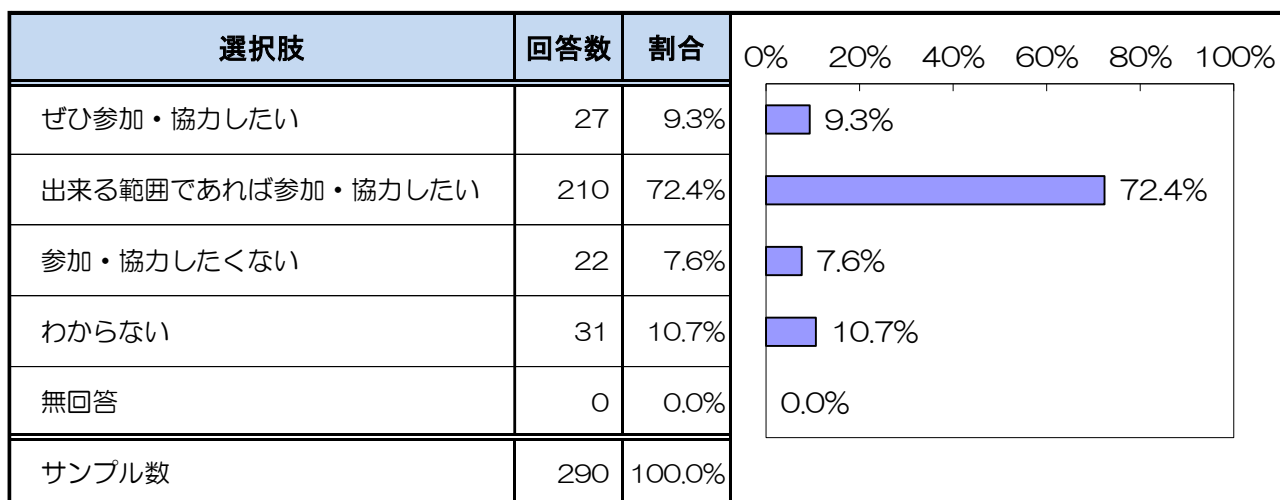
「少し関心がある」が52.8%と最も高く、次いで、「あまり関心がない」の27.9%、「非常に関心がある」の12.8%の順となっている。



問7 今後、市民活動に参加や協力したいと思いますか。(ひとつだけ)

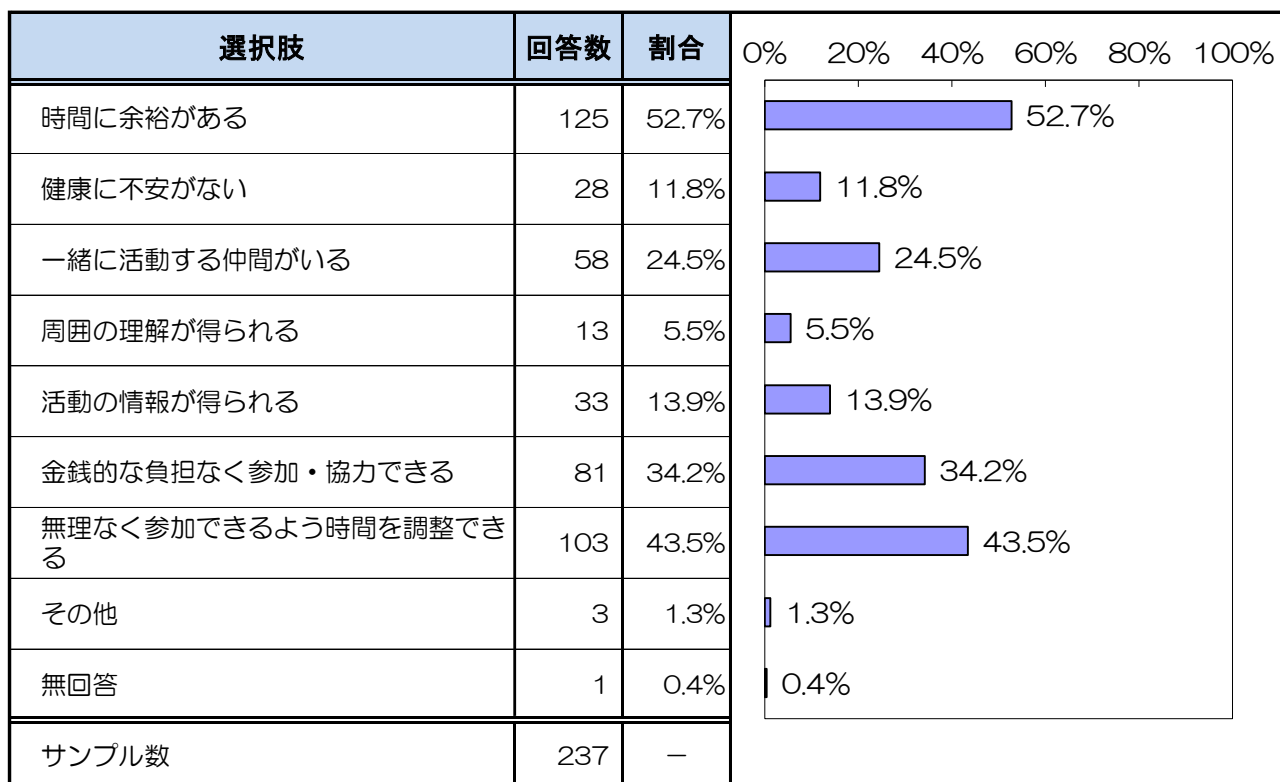
(協力の例：寄附や賛助会員、物品や労力の提供、広報協力など)

「出来る範囲であれば参加・協力したい」が72.4%と最も高く、次いで、「わからない」の10.7%、「ぜひ参加・協力したい」の9.3%の順となっている。



問8 【問7で「ぜひ参加・協力したい」または「出来る範囲であれば参加・協力したい」（参加・協力したい）を選んだ方にお伺いします。】
あなたは、どのようなことが整えば、市民活動に参加・協力したいと思いますか。（2つまで）

「時間に余裕がある」が52.7%と最も高く、次いで、「無理なく参加できるよう時間を調整できる」の43.5%、「金銭的な負担なく参加・協力できる」の34.2%の順となっている。

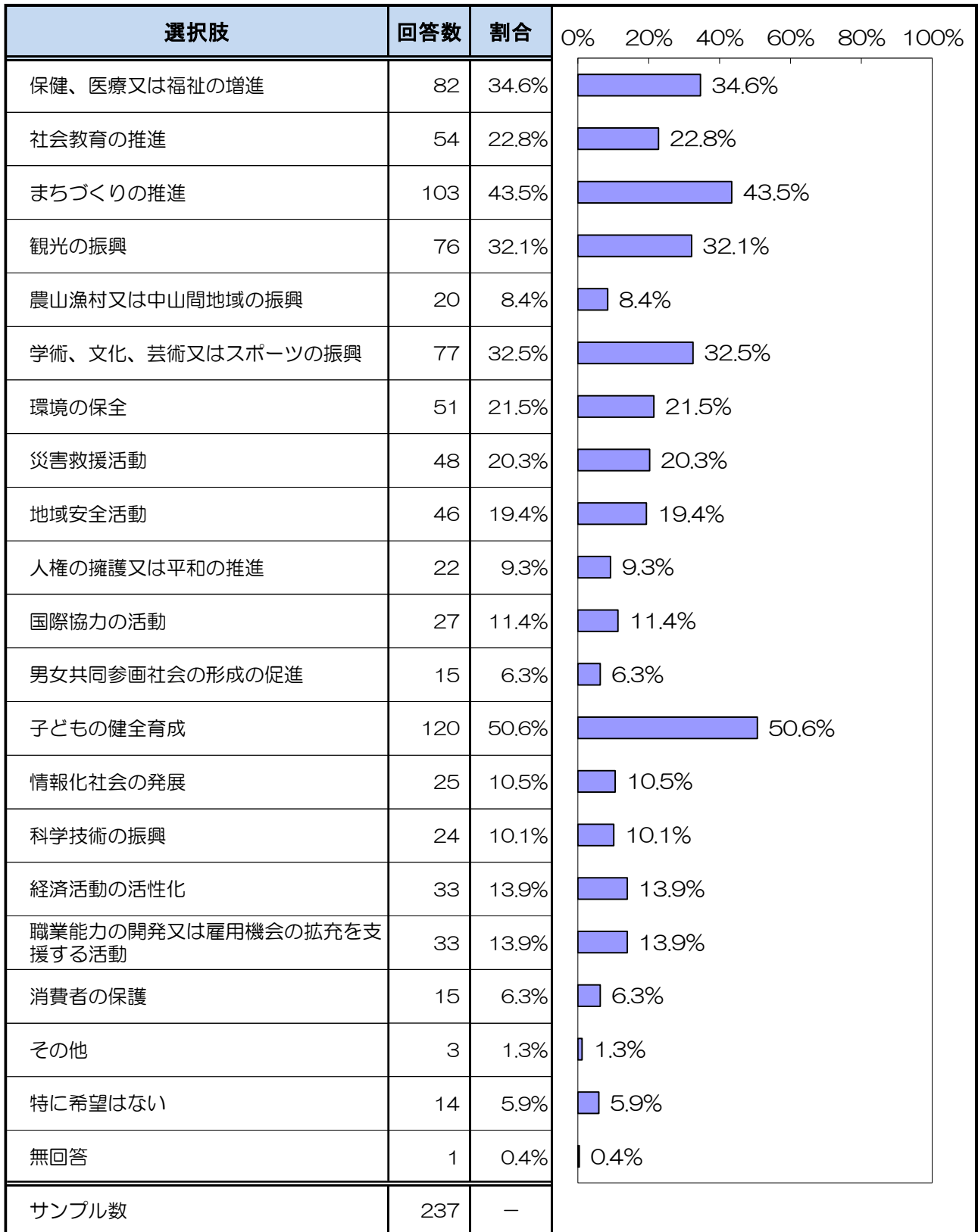


◆その他の回答（原文まま）

- ・ちゃんと自分にその情報が届けばやりたい。が、桜島で単身で働き盛りだと情報が入りにくい。どうにかして欲しい。
- ・ニーズがあればすぐにでも。
- ・地域活性化

問9 【問7で「ぜひ参加・協力したい」または「出来る範囲であれば参加・協力したい」（参加・協力したい）を選んだ方にお伺いします。】
あなたは、どのような市民活動に参加・協力したいと思いますか。
(いくつでも)

「子どもの健全育成」が 50.6%と最も高く、次いで、「まちづくりの推進」の 43.5%、「保健、医療又は福祉の増進」の 34.6%の順となっている。



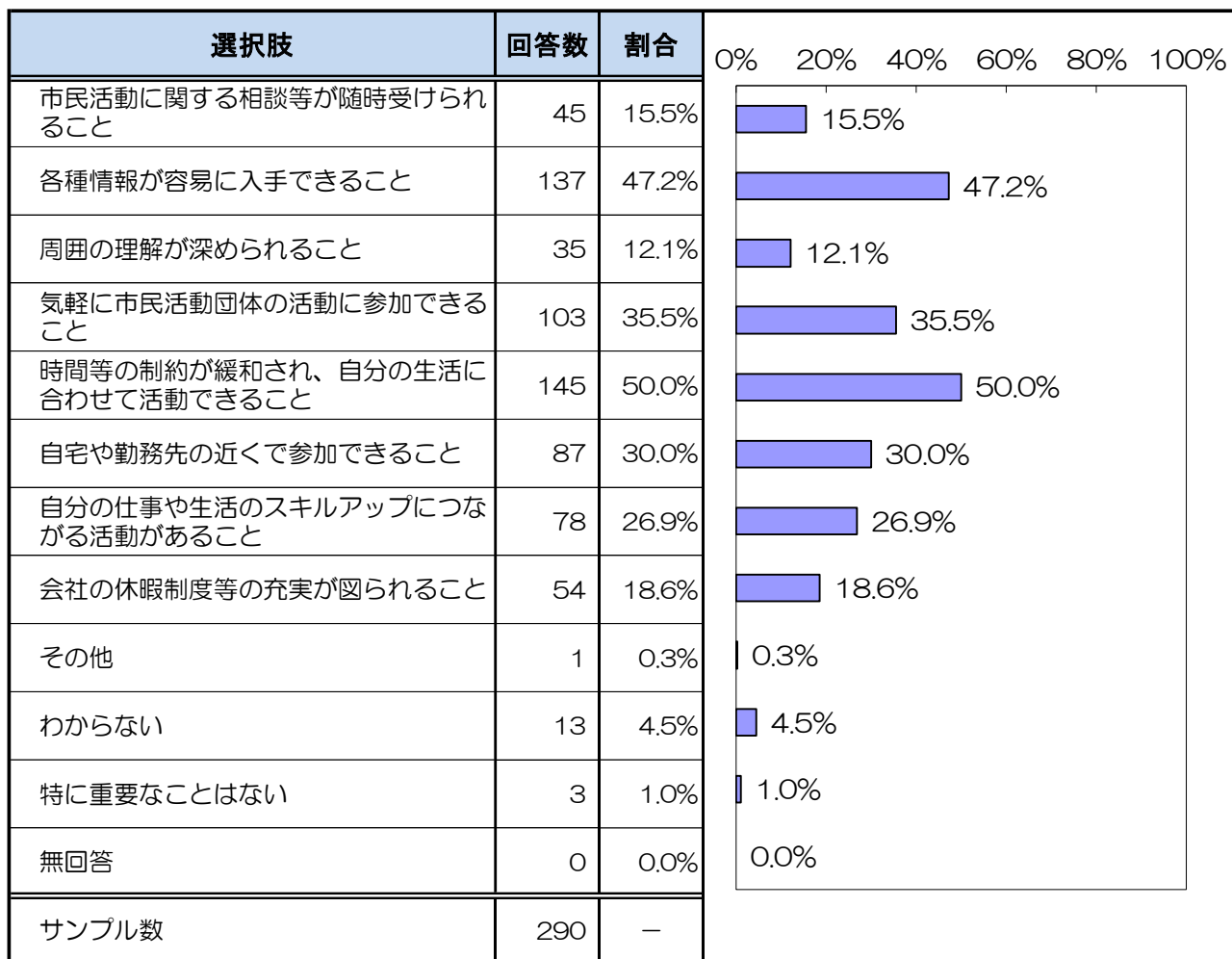
◆その他の回答（原文まま）

- ・市の主要事業のパブリックコメントへの参加
- ・障害者支援、福祉に関わる事、理解広めるとか交流も含む
- ・憲法改正反対に関する活動を今は特にやりたいです。

問10 【問10からはすべての方にお伺いします。】

あなたは、今後、市民活動を行いやすい環境づくりを進めるためには、どのようなことが特に重要であると思いますか。（3つまで）

「時間等の制約が緩和され、自分の生活に合わせて活動できること」が50.0%と最も高く、次いで、「各種情報が容易に入手できること」の47.2%、「気軽に市民活動団体の活動に参加できること」の35.5%の順となっている。

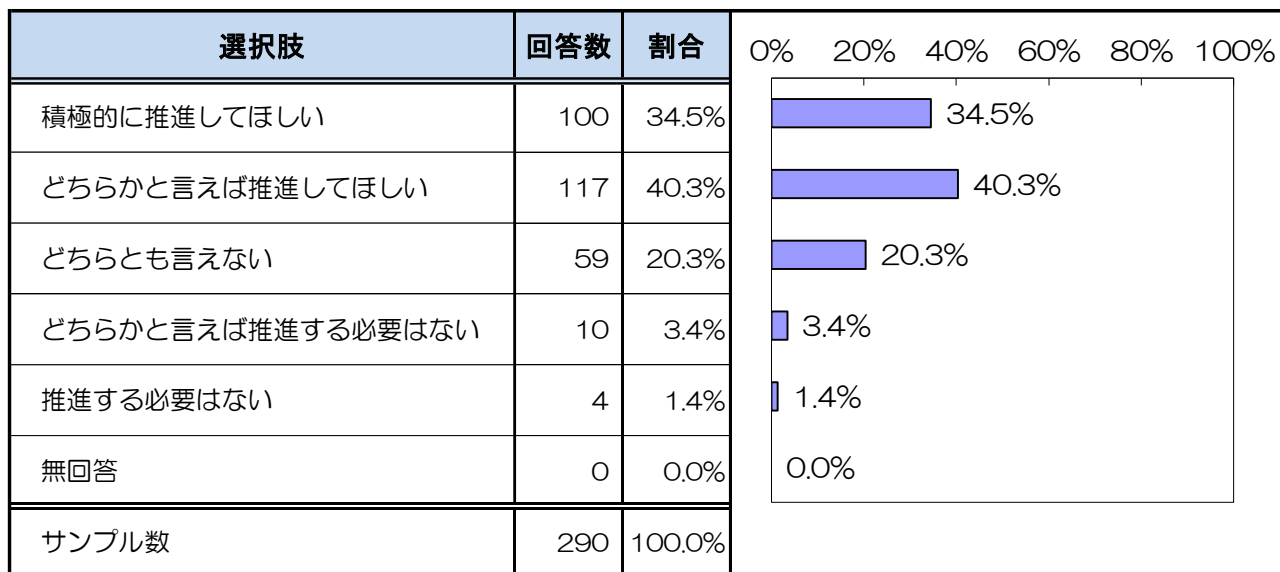


◆その他の回答（原文まま）

- ・市民活動を行わせる前に、自治体の職員が行えばよい。市民を使いたいのであれば、自治体が報酬を支払うべきである。

問 11 現在、企業では社会貢献活動として、清掃活動を行ったり、NPOやボランティア団体の活動に資金援助を行ったりしていますが、あなたは、企業の社会貢献活動についてどのようにお考えになりますか。
(ひとつだけ)

「どちらかと言えば推進してほしい」が40.3%と最も高く、次いで、「積極的に推進してほしい」の34.5%、「どちらとも言えない」の20.3%の順となっている。



問 12 市民活動の活性化に関するご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。(任意回答)

◆回答一覧(原文まま)

回答内容	性別	年代	地域
「市民のひろば」に市民活動団体のことについての情報を載せたらいいと思います。	男	40 歳代	中央地域
【21】ボランティア団体の活動に資金援助を行ったり…とあるが、資金援助してやるのがボランティアと思えない。日本のそういう考え方が少し変だなあと思う。	女	30 歳代	桜島地域
アプリやポイント制などあれば面白いと思います。	男	30 歳代	中央地域
鹿児島ベルマーク協議会(月1回第2土曜日)ベルマーク集計活動参加していますが一般の方々の集まりがなかなかボランティアスタッフの参加が少ないので鹿児島市でも広報などで活動を取り上げて頂ければ人員が増え作業効率も上がるとありがたいですね。鹿児島県キャンプ協会でのアウトドア活動のキャンプ・登山などのスキルを学ぶキャンプインストラクター資格も取れ災害・防災の対策技術も学ぶことが出来る(2018年資格取得)ので鹿児島からも地域学校の役員、指導者の方々にもっと学んで頂く広報活動を取り上げる機会を作り多くの方々の参加があればもっと広がると思います。鹿児島大学農学部ルネッサンスアカデミー焼酎学講座(2023年受講中)歴史ある鹿児島郷土の基幹産業焼酎のお酒離れが高齢化、少子化で加速してその中で歴史ある焼酎文化拡大焼酎ファン獲得に向け焼酎マイスター資格取得(一般人1年間受講)プロ養成機関の活動もPRして頂き、多くの方へ学んで頂きたい。	男	60 歳代	中央地域
交通が不便だと参加しにくい。まだまだ障害者に対する理解が遅れているように感じます。場所が遠く参加しづらい。(こちらが引っこすしかないかも)仕事障害者(雇用)も考えて頂きたい。作業所ばかりでなく林業、漁業、農業等。	女	50 歳代	桜島地域
この地域は以前から住んでいる人が新しく住むようになった人を快く受け入れないので、新しく町内会に入って役員になっても以前から住んでいる人が協力してくれないので苦勞している姿が見受けられ、新規に町内会に加入する人がいない。	男	60 歳代	吉野地域
この年齢になると市民活動への感心もなく誘いもなく遠ざかってしまってます	女	60 歳代	吉野地域
これからボランティア活動等積極的活動して行きたいです。社会貢献出来ると信じています。	男	40 歳代	鹿児島市以外
これまで子どもの学校、仕事の関係する情報で知ることができた。広く市民活動の事を知ることが少なくなった。(市民のひろばなど載せているのかもしれませんが、すみません)	女	50 歳代	中央地域
これを機に社会貢献活動に参加してみたいです。	男	30 歳代	吉田地域
市民活動団体はボラセンだよりと同送されるチラシでしか知りません。それに載る団体は限られています。日にちの都合があれば参加しています。	その他	50 歳代	中央地域
市民活動の一環としてスポーツ健康体操等ボランティア活動等実施する場合競技用具特に清掃用具等の支給は要望に対して不足の事態が多いので予算をもっとふやしてほしい。いつでもどこでも利用出来るようにしてほしいです。	男	70 歳以上	桜島地域

※ 性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
市民の中には、機会があれば市民活動に参加したい方がいるので、市民活動に関する相談窓口を広く設け、各種情報を広報してもらえたら活性化につながると思う。	男	70歳以上	伊敷地域
スーパー等よく行く場所の目につくところがあれば知り、参加するきっかけになると思う。	女	30歳代	谷山地域
すみません、どんな市民活動団体があるか知らない	女	60歳代	吉野地域
すみません。どこでどのような活動をしているのか把握できてません。	女	29歳以下	伊敷地域
清掃	男	70歳以上	喜入地域
せんだいメディアテークや、山口の YCAM のように、さまざまな活動の拠点となりうる文化施設があると良い。	男	40歳代	中央地域
そもそも市民活動とは何なのかがよくわかっていない。	女	30歳代	谷山地域
どう言ったのがあるから分からない	男	30歳代	喜入地域
とにかく、市民活動について、理解がないので、それで害をなす団体、あるいは個人を処罰するか、法的に取り締まる法律に出来るようにしてほしいです。もしくはそうした個人、団体が公的保護を得られなくするのが、健全で、住みよい社会貢献活動の活性化につながるかと、私は思います。	男	40歳代	中央地域
どのような NPO 法人があるのかわからないのでまずは周知して欲しい。	男	50歳代	伊敷地域
どのような活動があり、どの活動に人が集まり、人が足りないか、情報を発信して欲しい。	男	70歳以上	中央地域
どのような市民活動があるのかわからない。町内会活動で班長、あいご会活動など経験したことがあるが仕事をしているとかなり煩雑だったと記憶している。PTA 活動と同様、夫の協力を得ることができないなど女性だけが犠牲になる印象もあった。	女	50歳代	谷山地域
どんなのがあるのか分からないのでコロナも落ち着いてきたことですからステーション的などころがあればいいですかねってもうありますかね?	女	40歳代	谷山地域
どんな活動団体があるかわからない	女	29歳以下	吉野地域
どんな市民活動団体があり、いつ活動をしているのか知らないので、チラシなどで情報をもっと発信してほしい。	女	29歳以下	中央地域
どんな市民活動団体があるか知らない	女	30歳代	谷山地域
どんな市民活動団体があるか知らない。どこで情報を収集すればいいかわからない市民のひろばをみてもこれが市の主催か NPO 主催のものかわからないものが多い	女	40歳代	谷山地域
どんな市民活動団体があるのか、市民活動とは何かがよく分かっていない。	女	30歳代	中央地域
どんな団体があり、どんな活動をしているかを知らないので、情報提供をしてほしい。市民の広場や SNS など誰でも目にするようにすれば参加者は増えるのでは？職場の理解が得られるように推進して欲しい。参加したらポイント等がもらえて行政の支援が受けられるようなシステムが欲しい。	女	50歳代	中央地域
ボランティア団体を立ち上げていますがメンバーが高齢化して、年々活動に支障が出ています。今後継続して行く為には資金面（飲食）で問題が生じつつあります。	男	70歳以上	郡山地域

回答内容	性別	年代	地域
ボランティアなど興味はあるが、情報が気軽に入っていない。新聞等、後からこんなことがあったんだと知ることが多い。皆さん、どこで情報を得ているのか気になる。積極的に情報収集まではなかなかしないので、新聞や地域のニュースなどで取り上げて欲しい。	女	40歳代	吉田地域
マンションばかり建てるのではなく観光地や遊べる所を作ってほしい。	その他	30歳代	中央地域
意識して見たりしていないので、どんな市民活動団体があるのかわかりません。	女	50歳代	中央地域
引っ越ししたりして町内会活動とか何があるのかわからない。	女	40歳代	中央地域
活性化されることはいいことだけど、ボランティア活動が強制参加など、意に反する活動にならなければと思います。	女	40歳代	吉野地域
活動団体について知識がない	男	60歳代	谷山地域
活動団体のことをよく知らない	女	60歳代	谷山地域
機会があれば参加したいと思いますが、地域でどのような活動団体があるかの情報をどのように入手できるのかわかりません。子育て中なので、同じ境遇の方や子育てを終えた方と繋がりを持てるような活動があれば参加したいです。	女	40歳代	谷山地域
共働き世帯が増え、昔のような町内会活動はかなり難しいと感じている。また例えば町内のリサイクル活動など年に数回行っているが、広報が不十分で当日に集まらず翌日のごみの日にリサイクルごみが出されていたりする。どのような目的で行われ、どのように自分たちに還元されるのか、もっとわかりやすく積極的に広報する必要があると感じる。	女	50歳代	中央地域
近所にあるのかわからない。あいご会はあるけど子供の頃入っていただけだし。町内会も含まれますか？私の親世代は参加していますが、ちょい若い私ら世代は参加してみたい気もするけど？	女	40歳代	伊敷地域
具体的にどのような市民活動団体があるのか正しい理解ができていないので回答が難しいでした。	男	30歳代	中央地域
継続的でなく、スポット的にでも気軽に参加できるものが増えるとういと思う。(ゴミ拾いなど)	女	30歳代	中央地域
個人での参加はなかなか踏み切れない部分があるので、活動に関連する企業への情報提供や依頼を重視しては？	男	40歳代	桜島地域
今の時代は町内会やあいご会、出来れば入りたくない時代です。強制化してる地域もあるようですが、それでは良くないと思うし、人口も減ると思う。会員だからとかではなく自由に参加できれば、活性化に繋がるのでは。	女	40歳代	谷山地域
左翼活動団体による公金注入に利用されないでほしい。	男	60歳代	谷山地域
昨年区長が輪番制でまわってきて月1回の会議に参加したが、地区の問題を解決できぬまま長く放置されている事実を知った。推進、反対、反する意見がでるのは当然でそれが民主主義の根幹だと思うが、大切な情報を一部の人間しか把握していないのは問題だと思う。回覧板も忙しい現代には不向きで、時差をなくすためにもネット配信できる環境設備を進めたり、意見の受け皿を広げていく努力が必要だと思った。	男	50歳代	中央地域
仕事をしているので、今のところ休日や夜間しか活動できません。早めに活動団体や時期がわかるとそれに合わせて休暇を取るのにな、と思うことがあります。	女	60歳代	中央地域
子供が小さい頃は、あいご会など積極的に参加していたが、今はよくわからない。	女	60歳代	中央地域

※ 性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
市民の広場で募集を載せるなど、活動に参加しやすくしてほしいです。参加したい人はたくさんいるのではないのでしょうか。	女	30歳代	吉野地域
市民活動（団体）と聞くと少し参加には壁を感じますが、ボランティア参加を自由参加で行えるようなしくみがあると、週末時間がある時に近くで募集している活動に参加する、というようなことが可能になるかなと思います。	男	50歳代	中央地域
市民活動＝怪しい活動と思われる感じがして難しいです。	女	40歳代	吉野地域
市民活動で市からのバックアップが足りないと思う。補助金などの申請がわかりづらい。	女	30歳代	吉田地域
市民活動で必要なのは、オンブズマン活動のみであるべき。企業が行う社会貢献活動は、会社の売名と偽善活動。市民が行わなければならない状況は、自治体が仕事をサボっているから。鹿児島市は十二分な予算の中から、市民が自治会活動を行わなくても良いよう（暮らせるよう）に行政サービスを充実させればいいだけの事です。	男	40歳代	郡山地域
市民活動という言葉に馴染みがなく、どこで何をしているのかわからないので知りたいと思った	女	40歳代	谷山地域
市民活動とは具体的にはどのようなものなのか分からないので知りたいと思った。	女	30歳代	伊敷地域
市民活動と言っても、職場から強制されて参加されている方がいた。いまだに鹿児島ではそんなことをしている会社があるのに驚いた。	女	50歳代	谷山地域
市民活動と言葉は聞いてもなかなか参加はどうしてするのかわかりません	女	60歳代	伊敷地域
市民活動について具体的に知らないです。市報などはよく読みますが、あまり印象に残らないのが正直な所。マンションなどは回覧版がないので地域に根付く事も出来ない感じです。	女	30歳代	中央地域
市民活動を、小さな頃から触れられるようなイベントなどもあった方が良く思う。	女	50歳代	中央地域
市民活動をしたいという希望はありますが、仕事がシフト制の不規則な勤務なので、余暇時間を柔軟に使える活動であれば参加したいです。	女	30歳代	谷山地域
市民活動団体や活動内容など知らないことが多い	女	60歳代	中央地域
時間の制限を柔軟にして欲しい。	女	50歳代	中央地域
実際どのような団体がいて、どのような活動しているか全く知らない。	女	29歳以下	中央地域
趣味と繋がる活動が参加し易い。	男	70歳以上	吉野地域
小、中学校でボランティア等市民活動の時間を積極的に取り入れることで、子供は貴重な体験も出来るし、どのような市民活動があるのか自然と周知も出来、地域に貢献できる。働く親が多い中、無理に時間を割かせるような活動は無くしてほしい。	女	40歳代	中央地域
情報が入りやすいシステムが必要。今は、市の広報機関誌くらいです。	女	50歳代	伊敷地域
情報を収集できる術が少ないと思う。	女	50歳代	中央地域
情報を知る機会も少ないです。	女	30歳代	吉野地域
正直どのような団体があるか知らない状況でした。多分情報をとりにっていないので知らない状況だと思うが、興味ない方にも自然と情報や活動がわかる仕組みがあれば興味をもつのではと思う。	男	30歳代	中央地域

回答内容	性別	年代	地域
清掃活動にコラボした何かをつくるとか、キレイな景観・街づくり・原形の残る田舎の風景を実現できる官民一体となった仕組みづくりをお願いします。	男	40 歳代	吉野地域
生活、心のゆとりがあつての活動だと思うので、市民生活の充実が必要だと思います。	女	40 歳代	喜入地域
宣伝告知が全く足りないと思う。どんなものがどの様に行われているか、興味ある人は自分自身で調べるとは思うが、そうでない大多数の人は何も知らないし調べることもしない。そういう人達でも自然と目に、耳に情報が入る様になれば興味持って参加する人が出てくるかもしれないです。	男	40 歳代	谷山地域
団地の住宅は高齢化が進み、また世代交替も見られる。活発な活動から遠ざかる高齢者層の反面、住宅を建て替えて新しく入居した新世代は「個」の意識が強くの市民活動(町内会活動、地域清掃活動等)に対しては理解を得られない部分がある。また、夫婦とも働く世代にとって市民活動(町内会活動、地域清掃活動等)は負荷となりやすいように感じる。反面、災害時等には地域の繋がりが重要であることを考える時、市民活動が押しつけにならず自発的な活性化を促すにはどうすればいいか、話し合う機会が構築されればいいと思います。そうなるにはどうしたら???	女	60 歳代	吉野地域
地域ごとに市民活動について教えてほしい	女	30 歳代	郡山地域
地域で行う資源回収等の活動は、今後も続いていくと良いと思います。	男	29 歳以下	吉野地域
地域のコミュニティ作りをもっと分かりやすく全世帯に	男	30 歳代	谷山地域
町内会が街灯代金をだしてるとは思わなかった。子供たちを安全に登下校させる為にはとても有難いものだ、これを知っていれば町内会に入って費用を出そうと思う人も増えるかもしれない。活動には参加できないが、資金は提供するという人がたくさんいると思う。そういった資金の窓口も町内会にあれば良いのではないかなと思う。	女	30 歳代	松元地域
町内会では常に情報を得られるが、それ以外に個人で活動できる情報を鹿児島市のホームページや X などで簡単に得られ、参加できるようにしてほしい。	男	60 歳代	吉野地域
町内会に参加しているが活動を理解されにくい。また、町内会に入る世帯のみの負担がある事が不満。	女	40 歳代	谷山地域
町内会に入会するメリットを教えてほしい	女	60 歳代	伊敷地域
町内会の活動など参加をしたいが共働きであり参加が難しいです。子どものためにできるだけ参加できるような環境や設備になればと思います。	女	30 歳代	吉野地域
町内会の活動以外は、市民活動を知らず、参加したことがありません。皆の生活がしやすくなるような活動やなら参加したいと思います。ただ、私生活や仕事に支障をきたすような活動には参加しにくく思います。	男	40 歳代	谷山地域
町内会の係りになり引越したばかりだったため、近所の方々、活動内容、様々な会に参加して情報共有できたので、その点は良かったですが、交通安全の旗を立てるのが一人ではないとなくなると大変でした。知り合いが、いなかったため、頼める人もなく憂鬱だったので、その点がストレスでした。	女	60 歳代	谷山地域
町内会の脱退がすごいです。私もできれば参加したくないのが本音。会長やら役員決め。大変です。月一の会議とか辛い。できれば、75歳になれば退会とかあると嬉しい。	女	40 歳代	伊敷地域

回答内容	性別	年代	地域
町内会の年4回の清掃くらいしか参加した事はありません。どんな活動があるのかわからないので仕事をしながらでも無理なくできるものがあれば参加したいです。	女	50歳代	伊敷地域
町内会やあいご会に加入しない世帯は田舎ではごく少数なので目立つし近所でも噂。加入は任意であるが疎外感を与えているのではないかと気になる。特にあいご会の行事に参加できない子どもが可哀想に思う時がある。	女	30歳代	喜入地域
町内会以外の活動はほぼ行ったことはないですが、今後できれば色々な事に参加してみたいとは思っています。	女	50歳代	伊敷地域
町内会費と言っても実質、ゴミステーション利用代と化している。	男	40歳代	伊敷地域
適材適所に割り振る機能があること。	女	30歳代	中央地域
縛りの緩やかなボランティア活動と言いながら、どこにでも顔を出してくる pro 市民的な人物や売名・自己満足のための参加者が前に出てくる雰囲気、組織・団体の手前勝手なルールや押しつけが出てきがちなのがとても嫌い。個人が個人として参加・活動できる場があれば協力したい。自分のような人は意外に多いのではないか。	男	60歳代	中央地域
非営利団体の場合なかなか外部の者にはどんな活動や内容があるのかわからない。	女	50歳代	吉野地域
夫婦とも、70代になり、町内会活動も、不安になります。夜の会合も、いきたくありません。次回の班長も、どうしたものかと。その時は、町内会も、やめようかと。悩まれているかたも、多いかと。他の地域では、どうしているのか、情報収集したいと思っていますところですよ。	女	70歳以上	中央地域
道路や公園の清掃などは、昔の田舎ならその地域の人が綺麗にしていた。鹿児島市でも部分的にでもそういう活動を取り入れたら良いと思う。市民の意識が高まり、街を汚す人は減る効果があると考えます。	女	30歳代	谷山地域
いまいちよくわからない	女	29歳以下	吉野地域
分からない	女	40歳代	中央地域
例文と同じ	女	30歳代	中央地域
特にありません。	男	50歳代	吉野地域
特にありません。	男	70歳以上	谷山地域
特にありません。	女	40歳代	谷山地域
特になし	男	30歳代	伊敷地域
特に無い	男	50歳代	中央地域
なし	男	50歳代	桜島地域

Ⅲ 食育について

1. 調査の目的

本市では、第四次かごしま市食育推進計画に基づき、「食を通じて健康で、生き生きと生活できる活力あるかごしま市の実現」を基本理念に、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していきます。

今後の施策等の参考とするため、アンケート調査を実施させていただきました。

2. 調査結果を受けて担当課（保健政策課）からのコメント

「食育」について、関心がある方（「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した方）は88.9%、「栄養バランス等に気をつけた食生活」を心がけている（「十分に心がけている」「心がけている」と回答した方）は73.1%でした。その一方で、「かごしま食の健康応援店」を知っている方は13.1%と低く、外食の際に「栄養バランス」を重視している方も23.1%と低い状況でした。

また、「地産地消」の言葉も意味も知っている方は89.3%でしたが、地産地消を実践している方（地場産物を優先して購入している方）は47.2%と約半数でした。

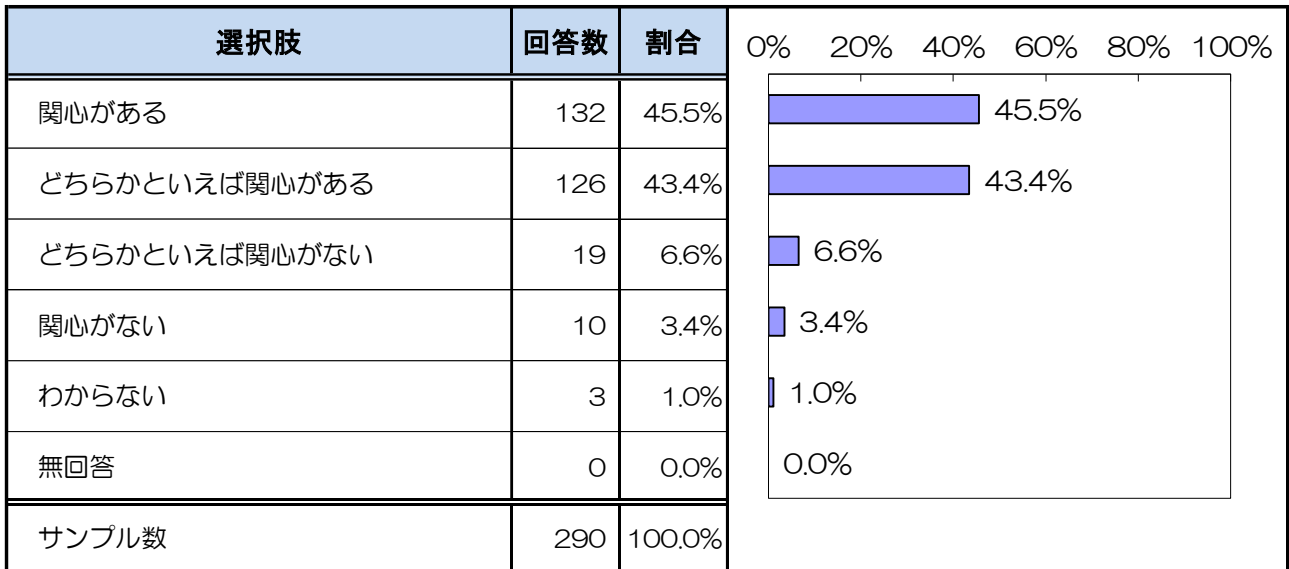
「農林漁業体験」に参加したことがある方（「全体を通した体験をしたことがある」「収穫体験など部分的にしたことがある」と回答した方）は58.3%であり、知識はあるが実践まで至っていない方もいることが分かりましたので、本市の食育推進計画に基づきより一層食育の推進に取り組んでまいります。

「かごしま食育フェスタ」について、「知っている」と回答した方は30.7%であり、そのうち「行ったことがある」と回答した方は28.1%でした。この結果を受け、より一層広報に力を入れるとともに、イベントの内容や対象等を整理し、食に関する学習や体験を通じたイベントの企画・運営に取り組んでまいります。

3. 調査結果

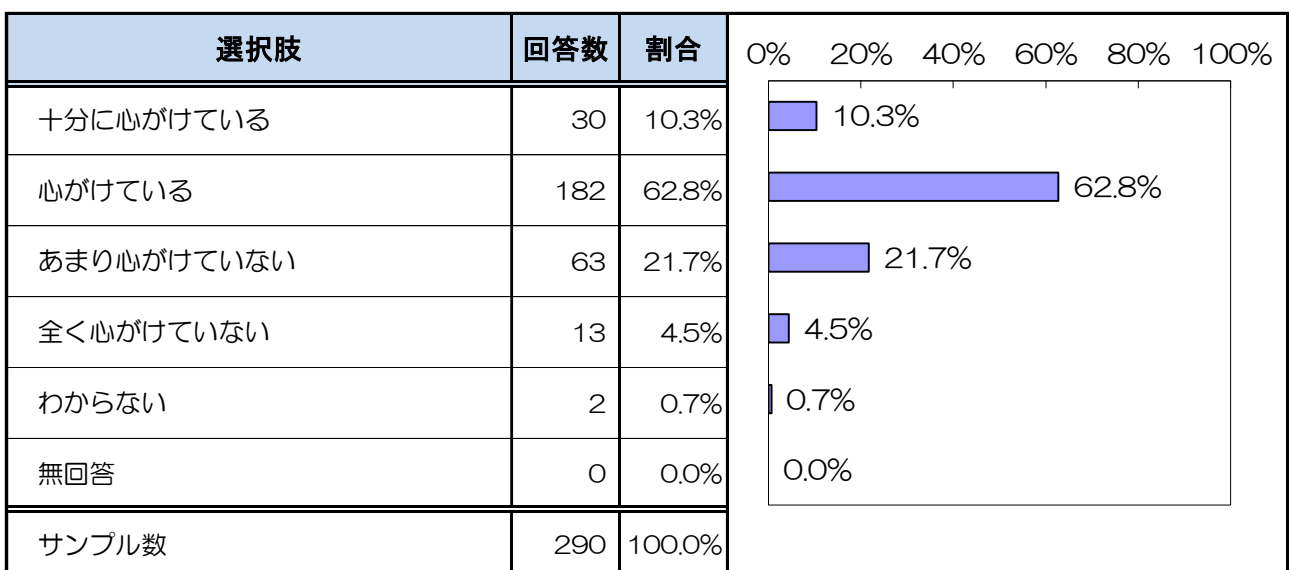
問 13 あなたは、食生活に気を配ることや、食に関する知識などを学ぶ「食育」に関心がありますか。(ひとつだけ)

「関心がある」が 45.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば関心がある」の 43.4%、「どちらかといえば関心がない」の 6.6%の順となっている。



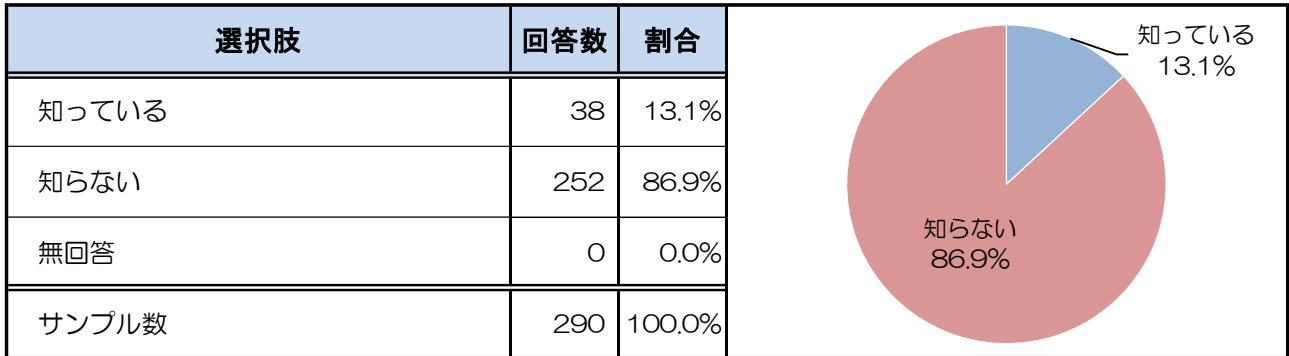
問 14 あなたは、栄養バランス（主食・主菜・副菜をそろえて食べる）等に気をつけた食生活を心がけていますか。(ひとつだけ)

「心がけている」が 62.8%と最も高く、次いで、「あまり心がけていない」の 21.7%、「十分に心がけている」の 10.3%の順となっている。



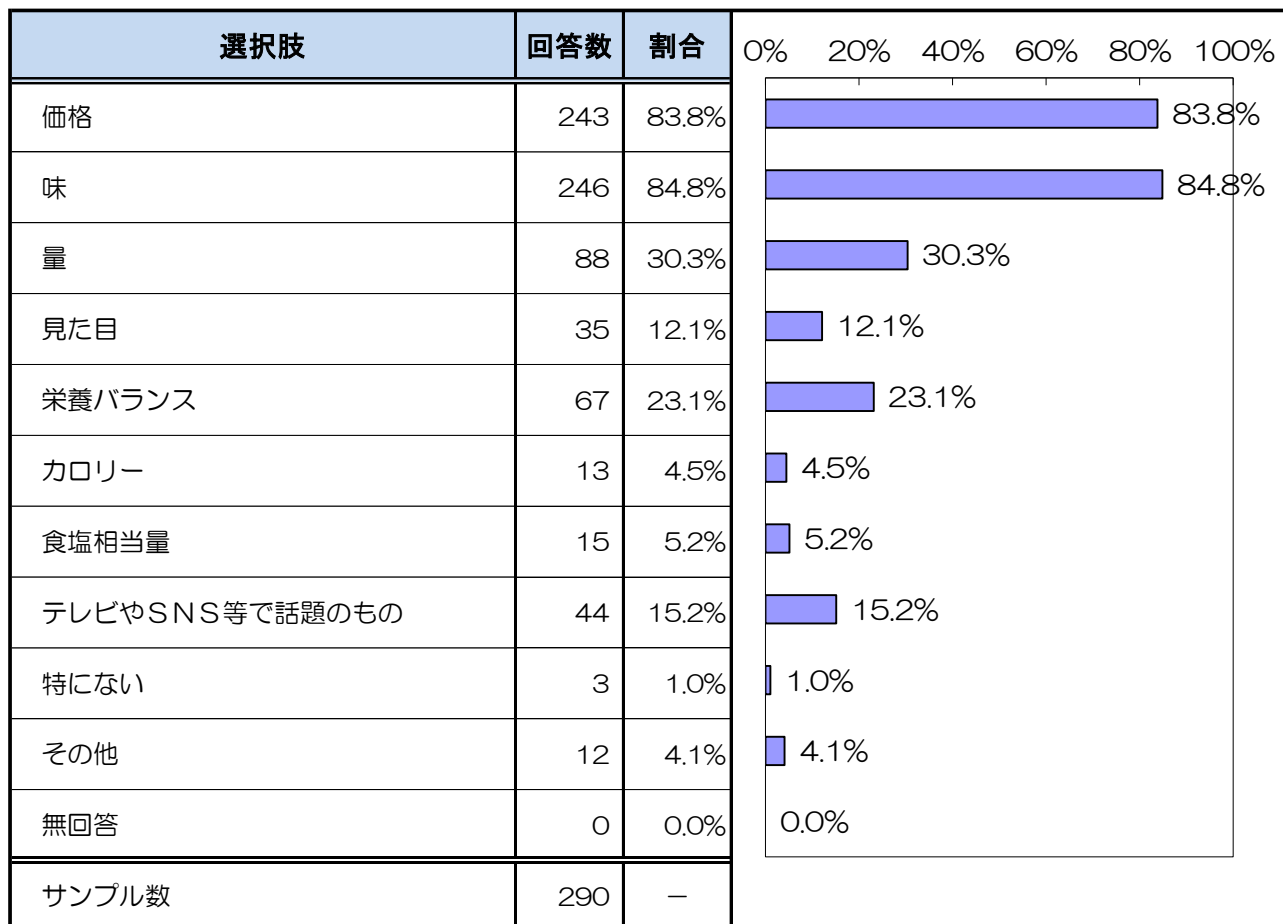
問 15 あなたは、「かごしま食の健康応援店」のお店についてご存じですか。
(ひとつだけ)

「知っている」が13.1%、「知らない」が86.9%となっている。



問 16 あなたは、飲食店で外食する際に、どのような点を重視していますか。
(3つまで)

「味」が84.8%と最も高く、次いで、「価格」の83.8%、「量」の30.3%の順となっている。



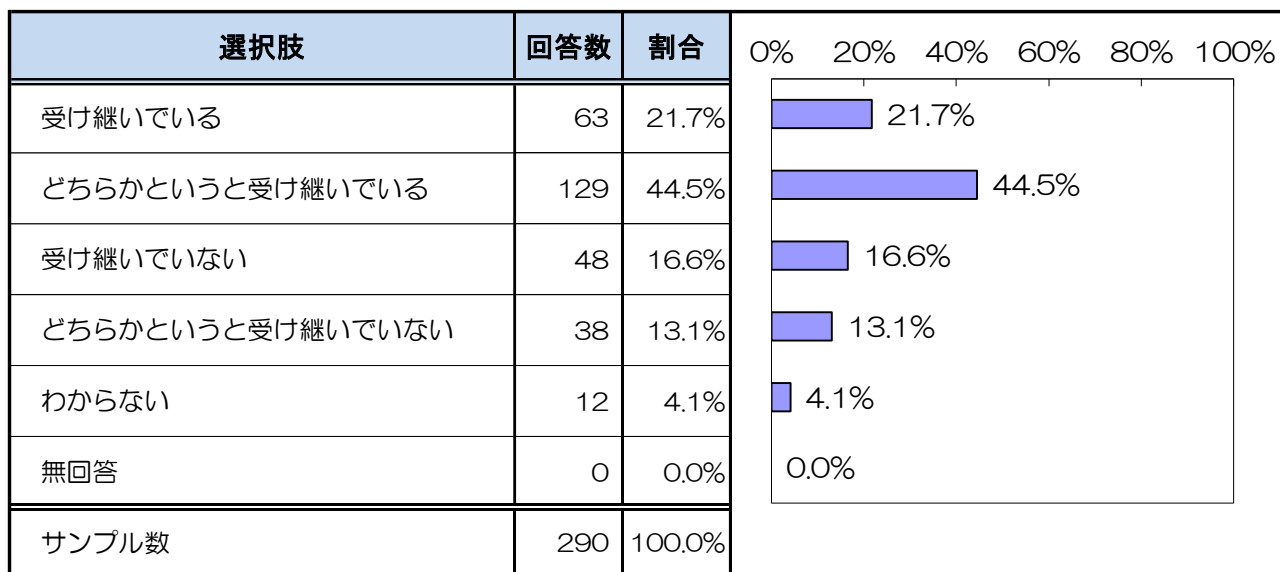
◆その他の回答（原文まま）

- ・ そのつどの気分
- ・ 外食は、10年間していません。セキュリティ対策です。
- ・ 感染対策されているか
- ・ 子供が食べたいと言う物
- ・ 時間、込み具合
- ・ 通院先の病院のコロナに関する規定で外食出来ないので、コロナ禍以降は外食していません。
- ・ 店の空間デザイン、店員のサービス度
- ・ 店の様子
- ・ 店主の人柄を含めた店の雰囲気
- ・ 店内の雰囲気、接客、客層
- ・ 未就学児と一緒に食事ができる
- ・ 有機野菜、遺伝子組換えでない

問 17 あなたは、箸づかいなどの食べ方・作法、郷土料理や伝統的な料理・味などを受け継いでいますか。(ひとつだけ)

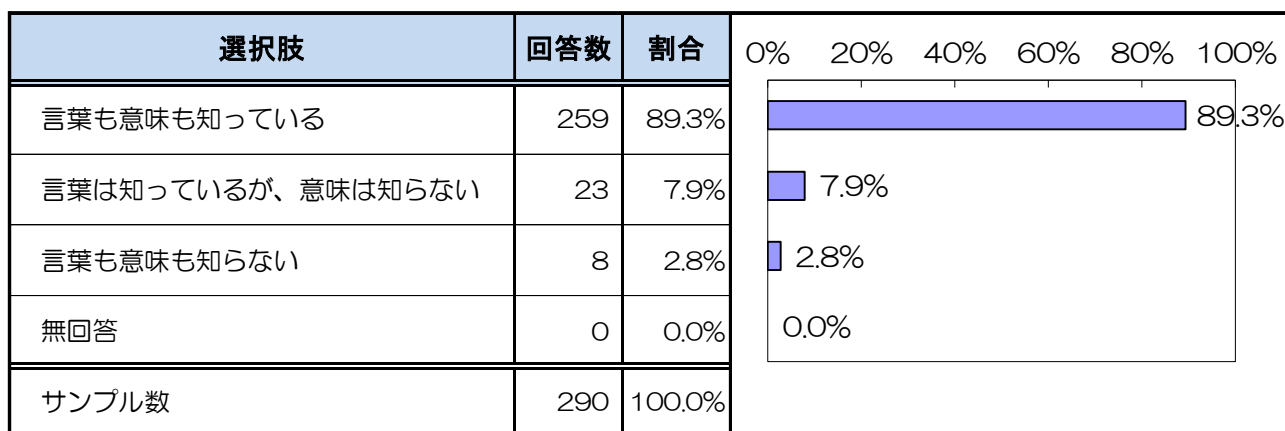
※学校や地域の人、保育所や学校等で教えてもらったことも含みます。

「どちらかというと受け継いでいる」が 44.5%と最も高く、次いで、「受け継いでいる」の 21.7%、「受け継いでいない」の 16.6%の順となっている。



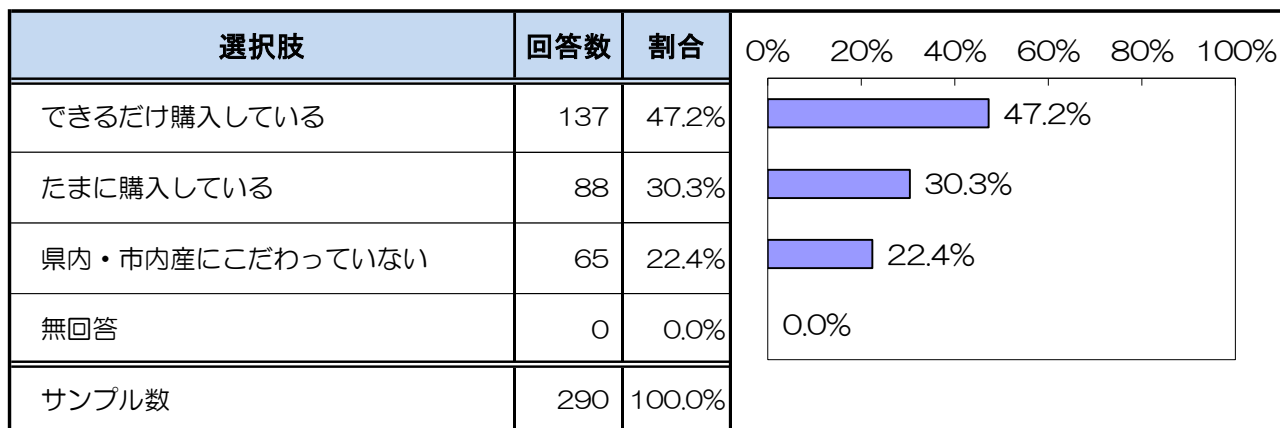
問 18 あなたは、「地産地消」(地域でとれたものをその地域で消費すること)についてどの程度知っていますか。(ひとつだけ)

「言葉も意味も知っている」が 89.3%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 7.9%、「言葉も意味も知らない」が 2.8%となっている。



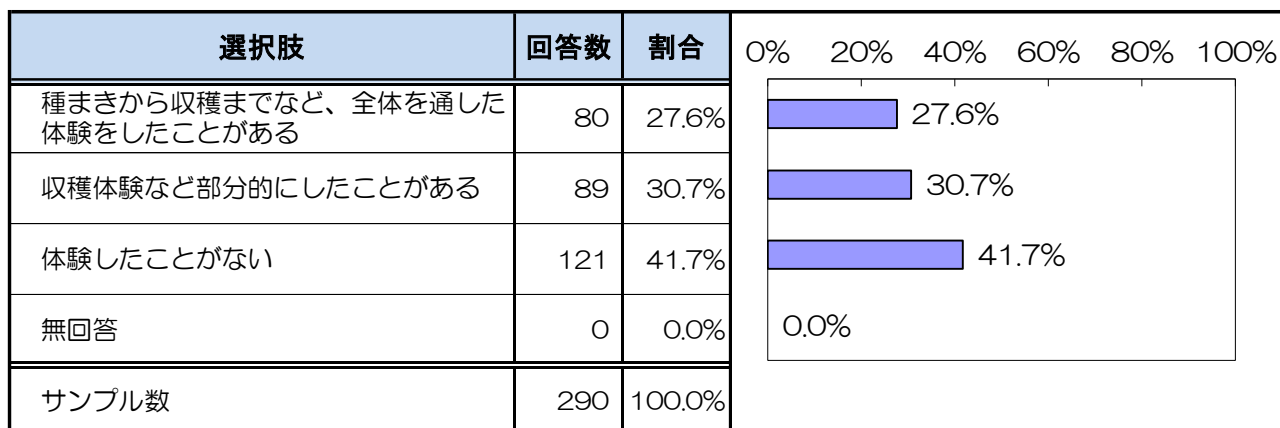
問 19 あなたは、農畜産物・水産物を購入する際、地場産物（鹿児島県内産、市内産）を優先して購入していますか。（ひとつだけ）

「できるだけ購入している」が 47.2%、「たまに購入している」が 30.3%、「県内・市内産にこだわっていない」が 22.4%となっている。



問 20 あなたは、これまでに「農林漁業体験」に参加したことがありますか。（ひとつだけ）

「種まきから収穫までなど、全体を通した体験をしたことがある」が 27.6%、「収穫体験など部分的にしたことがある」が 30.7%、「体験したことがない」が 41.7%となっている。

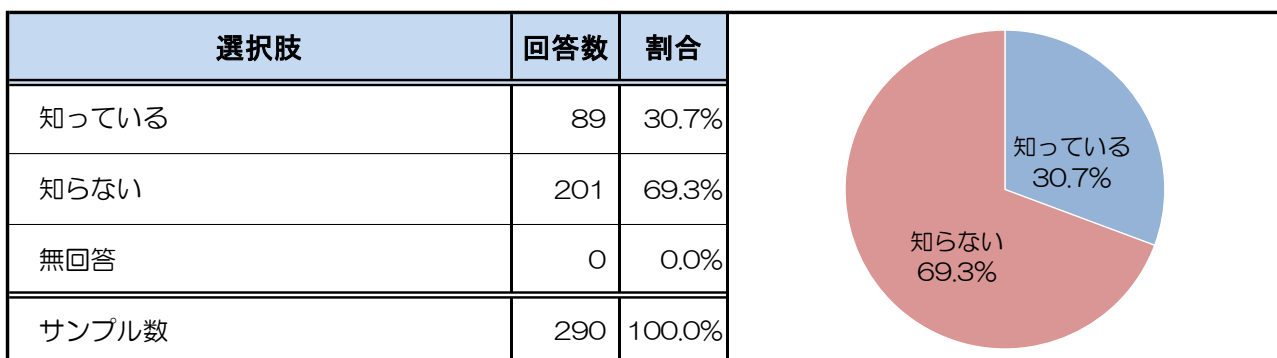


問 21 あなたは、「かごしま食育フェスタ」についてご存じですか。

(ひとつだけ)

※「かごしま食育フェスタ」とは、「食」でつながろう元気なかごしまをテーマに、展示・体験・物販のブースがある食育に関するイベントです。

「知っている」が30.7%、「知らない」が69.3%となっている。

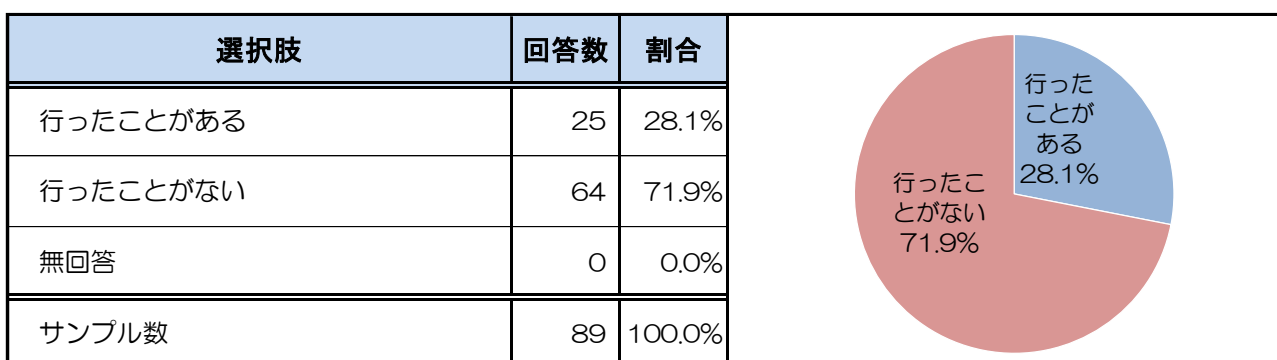


問 22 【問21で「知っている」を選んだ方へお伺いします。】

あなたは、「かごしま食育フェスタ」に行ったことがありますか。

(ひとつだけ)

「行ったことがある」が28.1%、「行ったことがない」が71.9%となっている。



問 23 食育に関するイベント（かごしま食育フェスタ等）について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。（任意回答）

◆回答一覧（原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
イベントの情報がほしい。	女	40 歳代	伊敷地域
うわべだけの食育だなあって思う。都内の学校で働いていたことがあり、食育の言葉だけがひとり歩きしていて教員があまり真摯に取り組んでる感じがなかった。畑や田んぼ、海、川を知らない人が食育と言っても説得力がない。	女	30 歳代	桜島地域
お米や野菜の収穫体験はイベントでよく耳にしますが、収穫に至るまでの手入れ等の大変さを体感できる機会も重要なことと思います。農業を担う人口が減る中、なかなか難しいとは思いますが、食の大切さを大人も子どもと一緒に学ぶ機会があればいいと思います。	女	40 歳代	谷山地域
鹿児島市におかれましても「食育月間の取り組み」として環境局、健康福祉局、こども未来局、観光交流局、教育委員会各部署にて例えば観光農園における農業体験、調理体験や郷土料理教室、男性向け料理教室、魚市場での魚育活動や実体験の企画イベントはとても有意義な活動だと思います。例えば麴三昧～無添加で発酵食品の座学講座（環境未来館実施）など座学的な企画はとても重要な知識取得の観点からもっと多くの方に伝える方法（zoom, google）などを使ってインターネット接続で受講募集して学ぶ方式も考えてはいかがでしょうか。特に平日の座学で定員 20 人では実施の意義はありますが基本現役世代は共稼ぎ世帯が多く高齢者グループか専業主婦しかおりません。座学的講座はオンラインでの講座が多くなれば参加者が増え食育活動が広がる！	男	60 歳代	中央地域
かごしま市民の広場とか紙面にも栄養バランスと食事に関する事を載せて欲しい。（1～2品でも）知識とか料理方法	女	50 歳代	桜島地域
健康的な食生活を送るには食塩の相当量のある一定量越えない基準をもうけたらと思います。最も食品には防腐剤の役割もかねている事はわかっていますが1日に取る塩分量を各食品に越えない事が大事ではないでしょうか。	男	70 歳以上	桜島地域
こどもと一緒に参加できる気軽なイベントだったら参加したいと思う。	女	30 歳代	伊敷地域
コンポストセットを普及促進してほしい。500 円で販売→コンポスト実施し作り終わり、グラムを測り、金券と交換→仕組みを勉強できる。	女	40 歳代	中央地域
魚のさばき方、ジビエ料理体験したい	男	70 歳以上	郡山地域
市役所の地下食堂を使って食育イベントが出来れば参加出来るかなと思っています。	女	70 歳以上	中央地域
スーパーなどでするといいと思う。	女	50 歳代	伊敷地域
ぜひ体験したい	女	30 歳代	谷山地域
ダイエットメニューについて知りたい	女	29 歳以下	吉野地域
展示物が多くこれを見にくる人は元々意識高くて知ってそう。逆に意識低い人は来ないかもしれない・・・毎年は行かなくていい気がしました・・・すみません	その他	50 歳代	中央地域

※ 性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
特定健診（40才以上）時に食育についてのリーフレットを渡し、食生活の大事さを説明し、病気にならないようPRする。	男	70歳以上	伊敷地域
どこで、どのように育てられて、収穫されたのかわかるように説明して欲しい。年代別に料理教室を開いて欲しい。生産者の話を聞く機会を作って欲しい。現場で体験学習をしてみたい。	女	50歳代	中央地域
どのようなイベントがどの時期にあるのか知らない	女	30歳代	中央地域
フードフェスとかはやってるのは知っているのでフードフェスとコラボして会場でやってみると良いと思う。	男	40歳代	谷山地域
保育士をしているので小さい頃の経験（何かを作る、野菜を植えて食べる）ということはとても大切だと思うので子供を対象にしたイベントなどがあれば良いと思う。参加した子供はもちろんのこと大人もきっと勉強になることもあると思うし、思い出に残ると思うので体験できるようなことをしてみると良いと思います。	女	30歳代	喜入地域
マルシェの中で、郷土料理の豚汁を地産地消で作り、気軽に食べてもらったり、その中でトラクターなど農業機械に子どもたちが身近に乗って体感できる場所をつくったり、種まきから経験する場を設けると身近に感じるのではないのでしょうか。	女	40歳代	谷山地域
もう十分ですが、学校、大学、あるいは職場で、畑をしたり、あるいは家で畑や室内栽培できる農作物のガイドラインをPDFで作し、誰でも閲覧して戦争や食糧危機に備えた方が、仮に台湾有事が、ひどくなくても、餓死者の数が少なくて助かるか、心の備えと余裕が出来るかと私は思います。	男	40歳代	中央地域
安く購入できるもので栄養バランスよくできる献立を知りたい	女	30歳代	谷山地域
一般的な食育も大事だが・農業従事者の平均年齢は68歳・肥料が物価高騰により3倍になっている・倒産が急増している・若手農業従事者がほぼいない・世界的には人口が急激に増えている・日本の農業技術は遅れているなどの課題を知り、何をすべきか先読みできる人が増えたら良いと思います。	男	50歳代	桜島地域
一連の流れで学びたい	女	30歳代	中央地域
栄養の大切さを授業などで子供たちに教えてほしい。またニュースなどで取り上げもらうのが一番見やすい	女	40歳代	伊敷地域
栄養バランスのよい離乳食や幼児食について学びたい。	女	30歳代	中央地域
栄養バランスも整えられるサクッとレシピみたいなのを教わりたい	女	29歳以下	中央地域
栄養バランスを学びたい。	その他	30歳代	中央地域
栄養素の過不足によってどのような病気になるか。また現代の食生活で不足しがちな栄養素は何かそれを補うための献立等を学習したい。	女	60歳代	中央地域
塩分量について知りたい。塩分とりすぎがどうなるかを小さいうちから教えたい	女	30歳代	吉野地域
開催場所や日時に関する情報発信の強化	男	40歳代	吉野地域
管理栄養士監修で市民向けに講座があれば参加してみたいです。ダイエット食や病気別の食事などテーマがあれば尚参加してみたいです。	男	30歳代	中央地域
希望としては地産地消に努めたいが、正直なところ金銭的な余裕がなくどうしても安い食材を求めてしまう。季節的には自宅で採れる野菜などは積極的に食材にしている。	男	60歳代	吉野地域

※ 性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
気づいたらやっていた感じ。事前に何があるかわからないイメージ	女	50歳代	吉野地域
気軽に参加出来るイベントがあれば、参加してみたい。	女	50歳代	谷山地域
魚の捌き方とか、触ったりしてみたい	女	29歳以下	伊敷地域
魚の捌き方を学びたい	女	40歳代	中央地域
魚の捌き方を体験してみたい	男	60歳代	谷山地域
魚を捌ける様になりたいです。	女	40歳代	吉野地域
魚を触る体験をしてみたいです。栄養バランスについて学習したいです。	男	40歳代	鹿児島市以外
魚捌きや解体ショーを見てみたい。	女	30歳代	吉野地域
郷土料理について学びたい。食物の効能について学びたい。	女	60歳代	伊敷地域
郷土料理の体験などをしてみたい。	女	50歳代	中央地域
行きやすいわかりやすいところで体験できたらと思います	女	60歳代	伊敷地域
今まで参加したことはないですが、機会があれば色々な面で、参加してみたいです。	女	60歳代	谷山地域
子どもがいるので積極的に参加したい。土日だけでなく平日にも行ってほしい。	女	30歳代	谷山地域
子どもが気軽に作れる栄養バランスのとれた料理教室を開催してほしい	女	40歳代	谷山地域
子どもに魚の捌き方を教えてほしい	女	40歳代	谷山地域
子どもに食育のイベントをしてほしい	女	29歳以下	吉野地域
子どものイベントのイメージが強いので、市民食育フェスタのように、対象が広がるネーミングと、内容にして欲しいです。	女	50歳代	中央地域
子どもも大人も楽しく学べるので、このようなイベントがある際は家族で参加しています。イベント情報をたくさん告知して欲しいです。	女	40歳代	吉野地域
子供と共に学べて、食に対する意識が高まるイベントに参加出来ると有りがたいです。	男	40歳代	谷山地域
子供にいろんな食体験をさせたい。※かまどでご飯を炊く等。	女	40歳代	中央地域
子供達が魚を触ったり捌いたりの体験をしてほしい。	女	40歳代	谷山地域
市民ひろばをよく読むようになったけれど、まだいまいちこのようなイベント等の情報が見にくいし頭に入ってこない。大きく見やすくゴミ出しカレンダーみたいになっていたら、上記の市民活動や各種イベントにも参加しやすいかなと思います。	男	40歳代	伊敷地域

回答内容	性別	年代	地域
私自身はキャンプ、魚釣り、野菜作りと体験したことはあるが、子供たちにはさせていない。自給自足できる事は災害時に役立つスキルであるが、親も子ども時間のない現代では、それを体験させる時間も余裕もないので、学校の社会校外学習などに盛り込んで行なってみてはどうか。米作り、地引網漁、飼育動物を食する命の授業などニュースで見た事はあるが、直に体験することが心に残る教育だと思った。	男	50歳代	中央地域
自分の家庭では鹿児島のもの日本のものにこだわって食品を購入している。孫にもなるべく鹿児島の行事で食べるものを食べさせたい。	女	60歳代	中央地域
鹿児島で生まれ育っていますが郷土料理の酒寿司は見たことも食べたこともありません。大人しか食べられない料理ですが食べる機会があればと思います。(食育とは違うかもしれないが)郷土料理についてもっと作り方など学ぶ機会を設けてほしいと思います。	女	50歳代	谷山地域
鹿児島の伝統的な料理を知りたい	女	30歳代	郡山地域
鹿児島の農産物の生産、収穫、生産、調理、生産者の話しなどが聞けると地元へ愛着が更に増すと思います。	女	50歳代	伊敷地域
鹿児島はお茶の産地でもあるため、もっとお茶を活用したスイーツなどの食べ物をアピールしていくと良いと考える。若者もお茶菓子が好きな人は多いため、地域の活性化にも繋がると考える。	女	29歳以下	中央地域
鹿児島は食材が豊かなので、たくさんの人に鹿児島の食材を味わってもらおうバルなどの開催を検討してほしい。	男	30歳代	中央地域
鹿児島県産の畜産物・水産物等を県民の方に食べて貰えるような推進や、栄養バランスの取れたおすすめの献立を知れる機会が増えると良いと思います。	男	29歳以下	吉野地域
鹿児島大学水産学部で教員をしています。機会があれば参加したいと思っていますが、中々その機会が見つかりません。	男	50歳代	中央地域
収穫体験がしてみたい。子供だけでなく、大人も来やすいイベントにしてほしい。	女	29歳以下	中央地域
収穫体験をしてみたい。	女	50歳代	中央地域
周知活動をもっとしてほしい。	男	40歳代	吉野地域
食べたもので体はできている事を子ども達には教えている。食育は重要。食は文化であり地域性。食はやはり地域を元気づける。	男	30歳代	中央地域
食べることは、とても大事なことだと思います。子供がいるころは、いろいろ参加していましたが、主人と二人になってからは、参加出来るのがあるのか？わかりません。	女	60歳代	中央地域
食べ合わせなど調理方法を知りたい	女	40歳代	中央地域
食育が重要な反面、共働きで忙しいと家事に時間がかかりすぎるのも色々難しくなってくるので、土井善晴的な考え方の重要性を感じています。	男	40歳代	中央地域
食育というと子どもが対象のイメージがあり、子どもが成人してからの我が家では縁遠い印象がある。	女	50歳代	中央地域
食育というと子供や教育のテーマに聞こえるが、食事は全世代にとって大切であり、食事をとることが病気などで困難な人も多くいる。全ての人の方が分かりやすく、その人に合った食育について理解できるような取り組みが望ましいと思います。	男	30歳代	中央地域
食育には子供のイメージが付いて回る。私はとても子供が苦手な、子供も参加するイベントには参加したくないし出来ない。大人向けの食育イベントをしてもらいたい。	女	40歳代	吉田地域

回答内容	性別	年代	地域
食育に関する事はとても重要だと思います。子育て世代で共働きなので、子どもの食事も冷凍などを利用しますが無添加等こだわりたい所もあります。また、土日休みの仕事ではないので、平日も含んで開催して頂くととても参加しやすくなると思います。	女	30 歳代	中央地域
食育の前に、食料自給率が低く、農薬や家畜の餌も輸入に頼っているこの国で食料不足に陥った時の対策を行う事の方が優先されるべきです。私は、3週間程度ほぼ飲まず食わずの状態を経験したことがあります。その時は病院搬送されるぐらいの飢餓状況に陥りました。食事での所作や食育を行う前に、子供たちに現実を教育してください。	男	40 歳代	郡山地域
食育の目的はまず子供の食事だと思うが、共稼ぎが多い現代ではなかなか食育に気をつけることは難しいので、給食が食育の中心になると思う。だから学校給食の食育を重視すべきだ。またつぎに食育で問題になるのが夫婦の一人が家からいなくなった時の残った一人の食事をどのようにして用意するかが問題となるが、男でも出来るような簡単な料理の講習会をやって貰いたい、もちろん食育を考えて。	男	60 歳代	吉野地域
食育フェスタについての情報をもっといろんなところ（マスメディア、フライヤー、ポスターなど）で手に入れられるといいと思います。	女	40 歳代	喜入地域
孫たちに、色々体験させたいです。	女	70 歳以上	中央地域
大きい魚の捌き方の体験がしてみたい	女	30 歳代	吉野地域
大切なことと思うが、個人的には関心が薄い。鹿児島はもともと「食べ物にこまごを言うな」という空気が強く、食文化的には貧しかった地。妙に気取らずに「ふつう」を大切にしてほしい	男	60 歳代	中央地域
単身者や高齢者の料理教室や、栄養/食育を学ぶ機会があるといいと思う。	女	60 歳代	吉野地域
地引き網、食べながら学べるなど	男	40 歳代	吉野地域
調理実習	男	30 歳代	喜入地域
伝統料理の調理方法、料理教室や調味料（味噌など）を自分たちで作ってみたい。	女	30 歳代	中央地域
日常で役に立つ情報を学びたい(栄養価の高い食べ物、体にいい、ダイエットにオススメなど)	男	40 歳代	桜島地域
乳幼児連れでの参加は、ハードルが高いです。行き帰りや、イベント会場がオムツ換えの場所などの確認が面倒です。小学生くらいからなら、楽しいと思います。	女	30 歳代	谷山地域
年齢による必要な栄養について興味がある。	男	70 歳以上	吉野地域
農薬や、添加物について知りたい。	女	50 歳代	中央地域
農林・漁業等機会があれば、体験して自分で収穫したもので調理して食べたいです。その料理の内容が、栄養バランスとか調理の仕方などのアドバイスが得られる機会が欲しいです。	女	70 歳以上	伊敷地域
勉強します。	男	70 歳以上	中央地域
特にありません。	男	50 歳代	吉野地域
特にありません。	男	70 歳以上	谷山地域
特に無い	男	50 歳代	中央地域

IV ペットに関する意識調査について

1. 調査の目的

本市では、人と動物の調和のとれた共生社会を実現するため、令和2年度に「鹿児島市動物の愛護及び管理に関する条例」を制定し、ペットの飼い主に対し、適正な飼養・管理に関する啓発を行っています。ペットは、飼い主にとって、家族の一員である一方で、トラブルの原因になることもあり、人とペットが社会で共生するためには、周囲の方々への配慮が必要となっています。

今回、ペットを飼っている方、飼っていない方、それぞれのご意見をお聞きし、今後の動物愛護管理行政の推進に役立てていきたいと考え、市民のみなさまにペットに関する意識調査を行いました。

2. 調査結果を受けて担当課（生活衛生課）からのコメント

災害時のペットとの避難や市営のドッグランの設置などについて、意識調査を実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

災害時に飼い主が避難する場合には、ペットと一緒に避難する同行避難が原則となっていることについては、「知っている」が29.0%、「知らない」が71.0%となりました。また、避難所にペットを連れてきた際に、飼い主に求めることとして、「ワクチン接種やノミダニ駆除などの衛生管理をしておくこと」が68.6%、「動物が苦手な方、動物アレルギーのある方へ配慮すること」が68.3%、「人に迷惑をかけないようにしつけをしておくこと」が56.2%となり、衛生管理や他の避難者への配慮が求められていることが分かりました。

市営のドッグランの設置については、「必要」が28.6%、「必要ない」が20.3%、「わからない」が51.0%となり、必要だと思う主な理由としては、「犬の運動の場を増やしたいから」、「適切な飼育の啓発の場になるから」となった一方で、必要ないと思う理由では、「設備や管理に費用がかかると思うから」、「民間のドッグランで十分だと思うから」、「フン尿の放置など、飼い主のマナーが守られないことが心配だから」となり、ドッグラン設置に係る経費や設置の必要性のほか、飼い主のマナーに関する意見がありました。

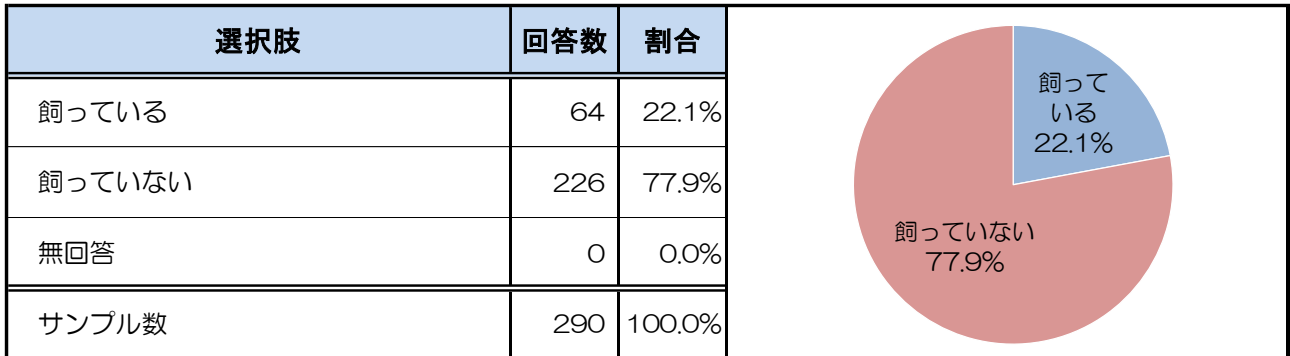
また、市が行う動物愛護管理に関する取組みで特に力を入れてほしいものは、「犬猫殺処分ゼロの継続」が48.6%、「動物愛護管理センターの犬猫の譲渡の促進」が39.7%となり、市民のみなさまの動物愛護への関心の高さがうかがえました。

今回の調査結果を踏まえ、人と動物の共生社会の実現に向け、引き続き、動物愛護管理行政の推進に取り組んでまいります。

3. 調査結果

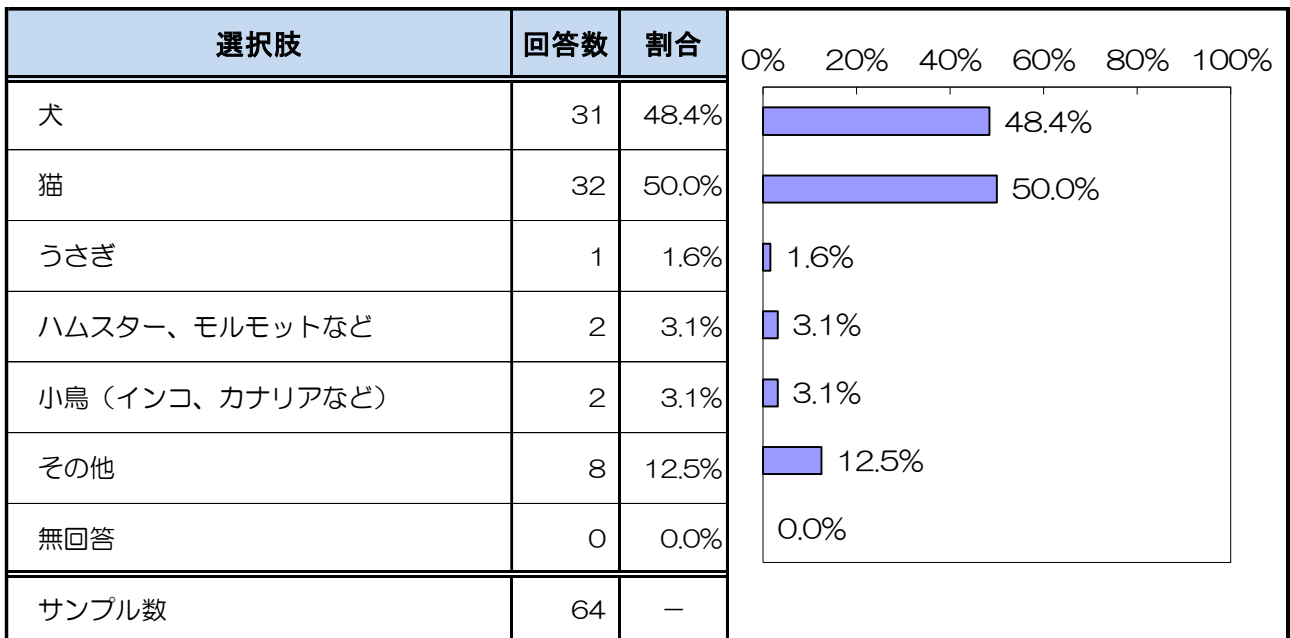
問 24 あなたのご家庭では、ペットを飼っていますか。(ひとつだけ)

「飼っている」が22.1%、「飼っていない」が77.9%となっている。



問 25 【問 24 で飼っていると答えした方に伺います。】どのようなペットを飼っていますか。(いくつでも)

「猫」が50.0%と最も高く、次いで、「犬」の48.4%、「その他」の12.5%の順となっている。



◆その他の回答（原文まま）

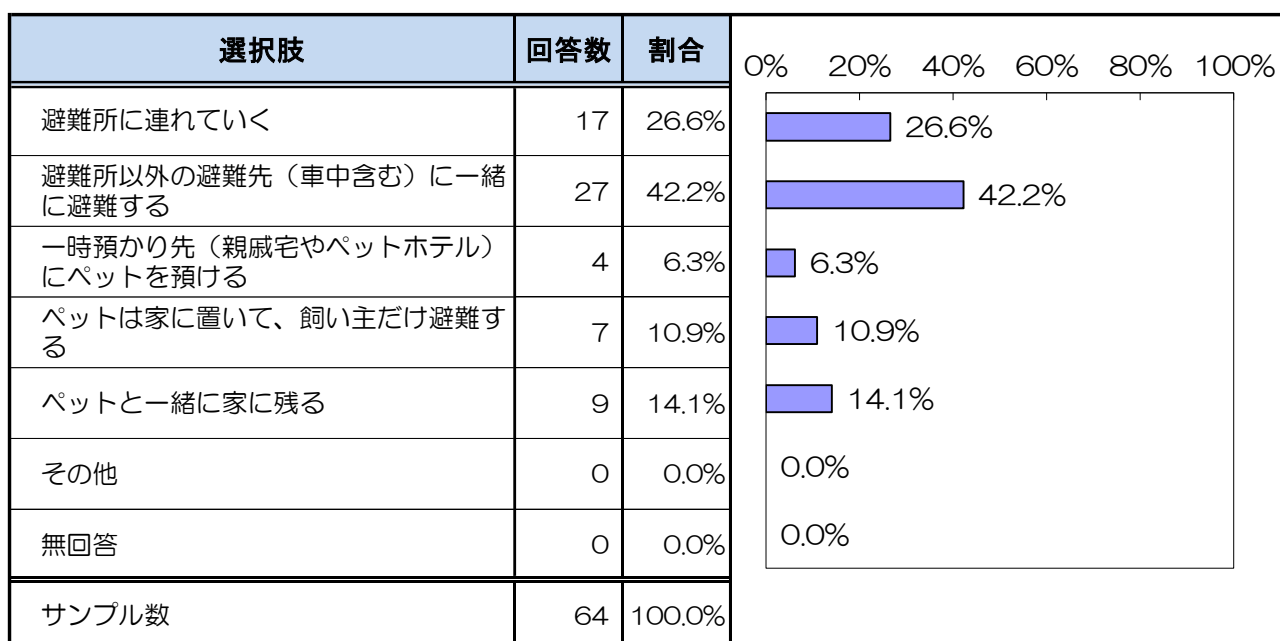
- ・ 魚（2件）
- ・ メダカ（2件）
- ・ 亀
- ・ 亀、熱帯魚
- ・ 亀、金魚、メダカ

・金魚

問 26 【災害時のペットとの避難について】【問 24 で飼っているとお答えした方に伺います。】地震や風水害などで避難が必要になった場合、ペットをどうしますか。

(ひとつだけ)

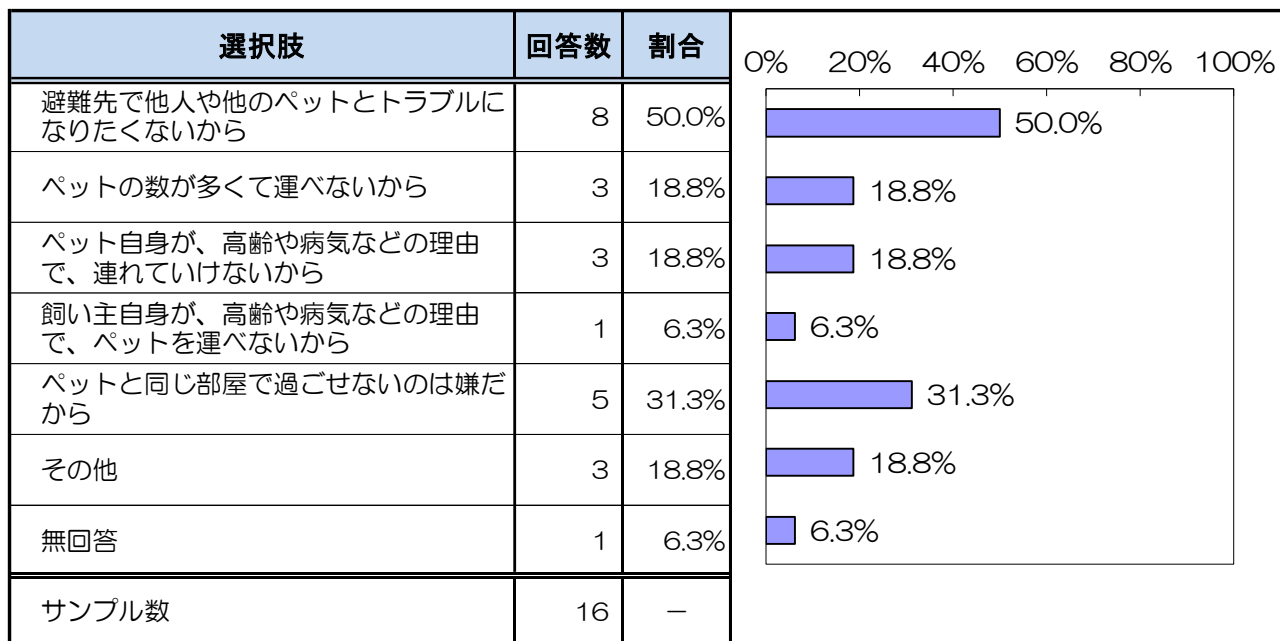
「避難所以外の避難先（車中含む）と一緒に避難する」が 42.2%と最も高く、次いで、「避難所に連れていく」の 26.6%、「ペットと一緒に家に残る」の 14.1%の順となっている。



問27 【問26で「ペットは家に置いて、飼い主だけ避難する」、「ペットと一緒に家に残る」とお答えした方にお伺いします。】

理由を教えてください。(いくつでも)

「避難先で他人や他のペットとトラブルになりたくないから」が50.0%と最も高く、次いで、「ペットと同じ部屋で過ごせないのは嫌だから」の31.3%、「ペットの数が多くて運べないから」「ペット自身が、高齢や病気などの理由で、連れていけないから」の18.8%の順となっている。



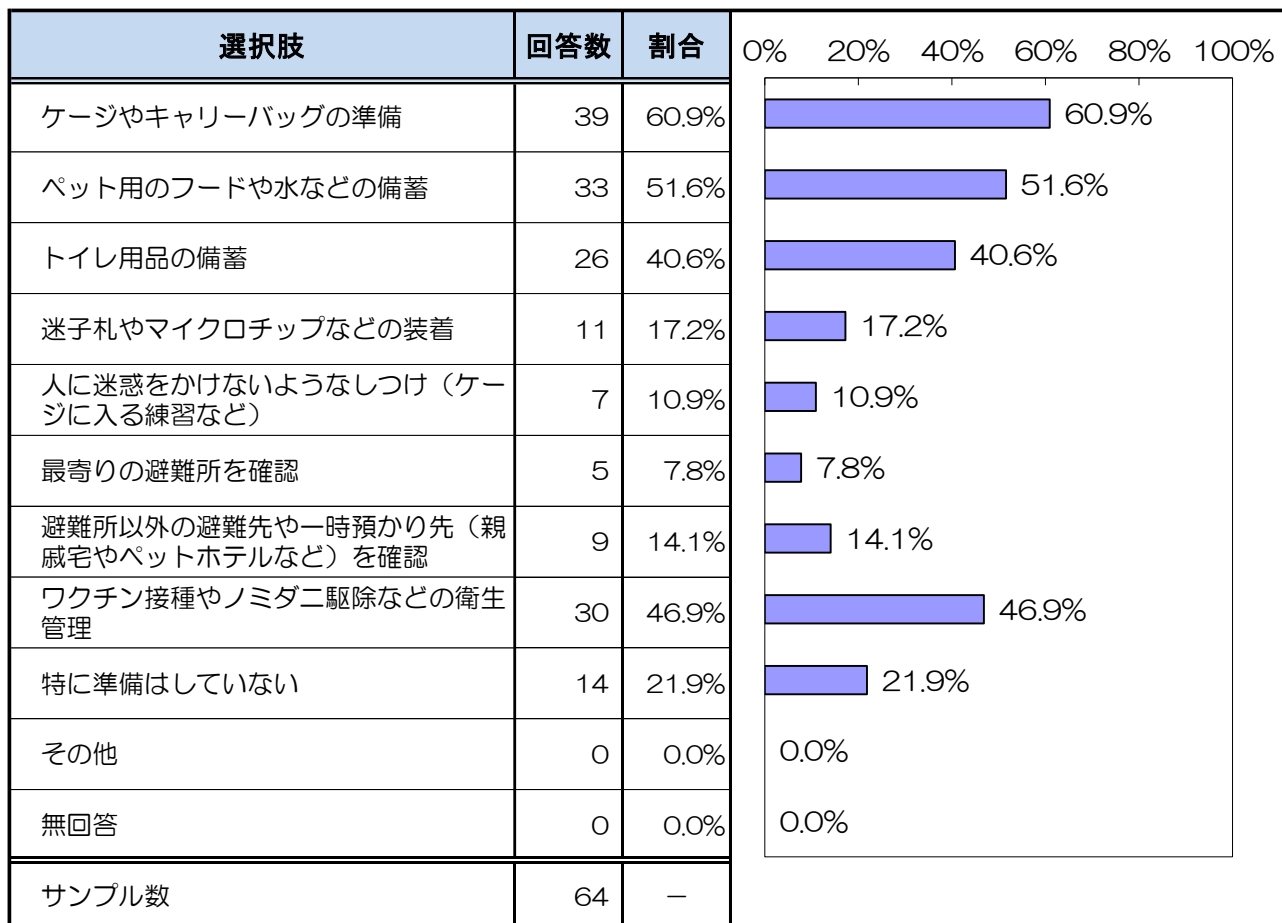
◆その他の回答（原文まま）

- ・めだかは連れて行けない。
- ・我が家のペットはケージ入りを大層嫌い、また、知らない人と知らない場所を非常に恐れるので、他所へ連れて行くことはできない。
- ・避難先ではペットは連れていけないもんだ(ペット不可)と思っているため。

問 28 【問 24 で飼っているとお答えした方に伺います。】災害が起きた場合に備え、ペットのための防災対策をしていますか。

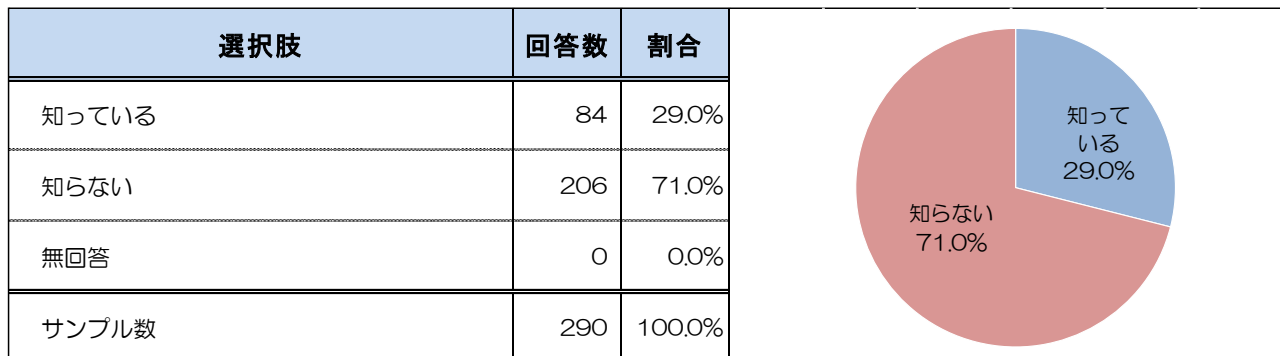
(いくつでも)

「ケージやキャリーバッグの準備」が 60.9%と最も高く、次いで、「ペット用のフードや水などの備蓄」の 51.6%、「ワクチン接種やノミダニ駆除などの衛生管理」の 46.9%の順となっている。



問 29 災害により避難する場合、飼い主は、飼っているペットと一緒に避難する同行避難が原則となっていることを知っていますか。(ひとつだけ)

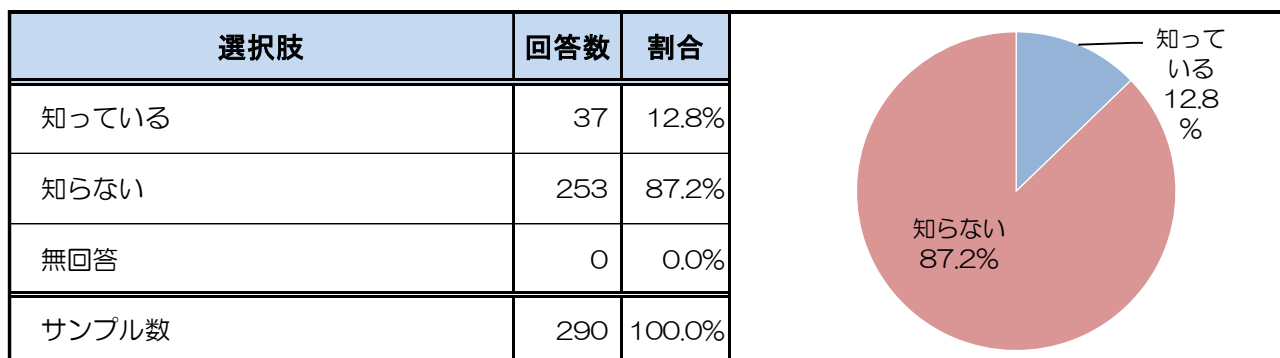
「知っている」が29.0%、「知らない」が71.0%となっている。



問 30 鹿児島市では、市が指定している全ての避難所で同行避難を受け入れていることを知っていますか。(ひとつだけ)

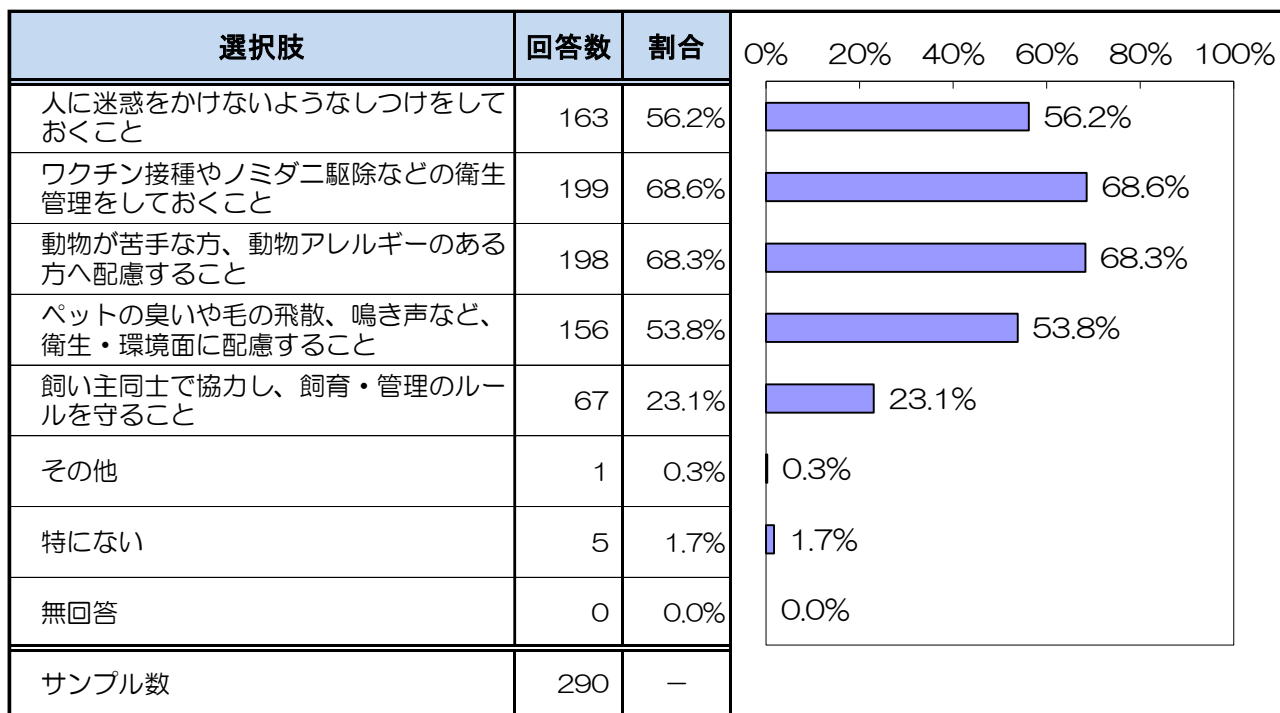
※ペットは人が過ごすスペースとは別の場所で過ごします。

「知っている」が12.8%、「知らない」が87.2%となっている。



問 31 避難所において、ペットの飼い主に求めることは何ですか。(3つまで)

「ワクチン接種やノミダニ駆除などの衛生管理をしておくこと」が 68.6%と最も高く、次いで、「動物が苦手な方、動物アレルギーのある方へ配慮すること」の 68.3%、「人に迷惑をかけないようにしつけをしておくこと」の 56.2%の順となっている。



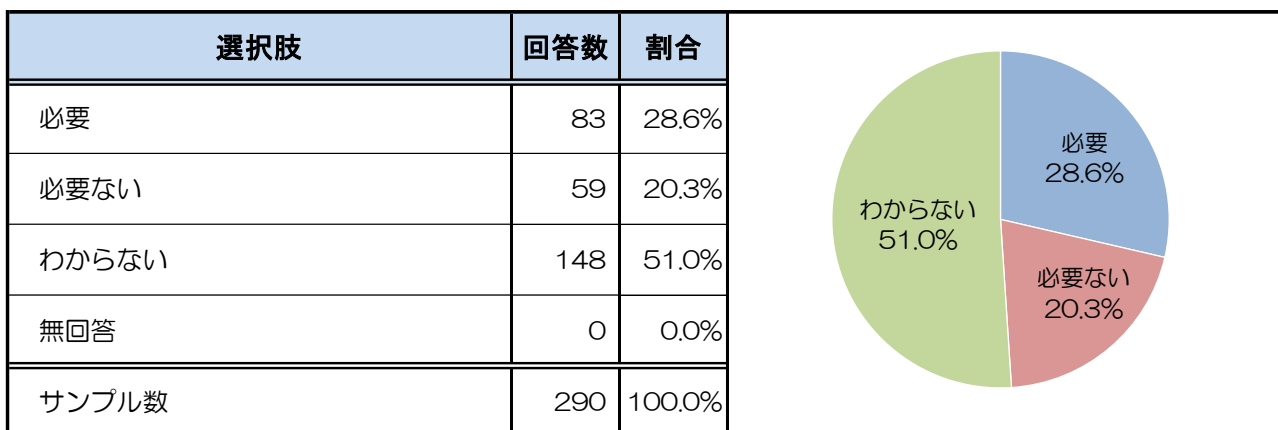
◆その他の回答（原文まま）

- ・避難先ではペットは連れていけないもんだ(ペット不可)と思っているため。

問 32 【市営のドッグランの設置について】

現在、鹿児島市内には、民間が営業しているドッグランのほか、イベント等で一時的に設置されるドッグランなどがあります。あなたは、新たに、市営のドッグランの設置が必要だと思いますか。(ひとつだけ)

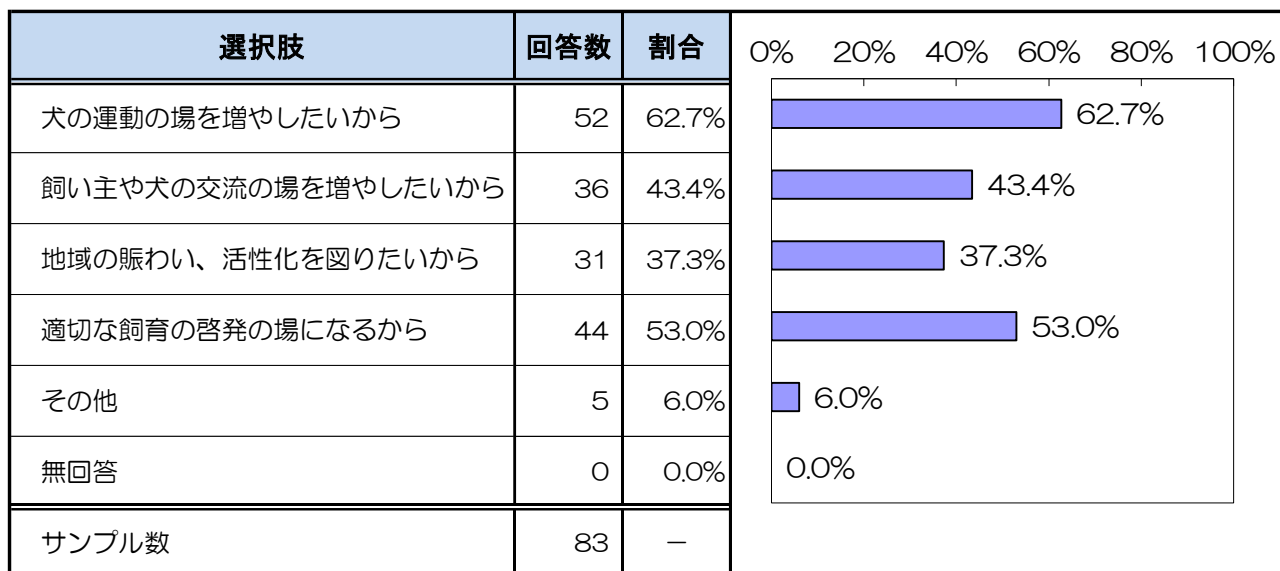
「必要」が28.6%、「必要ない」が20.3%、「わからない」が51.0%となっている。



問 33 【問 3 2 で「必要」とお答えした方にお伺いします。】

必要と思われる理由を教えてください（いくつでも）

「犬の運動の場を増やしたいから」が 62.7%と最も高く、次いで、「適切な飼育の啓発の場になるから」の 53.0%、「飼い主や犬の交流の場を増やしたいから」の 43.4%の順となっている。



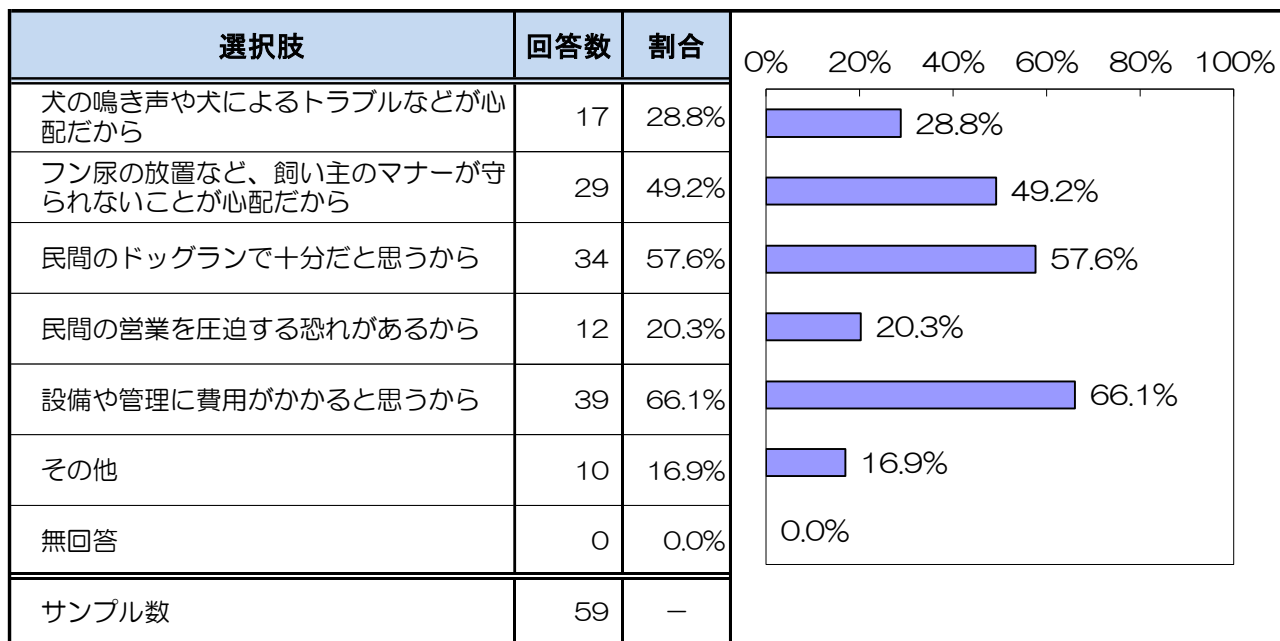
◆その他の回答（原文まま）

- ・アレルギーなどある方への配慮
- ・動物愛護の理念から必須である
- ・ペットを飼うことが生き甲斐になっている人の暮らしやすさを確保する必要があるから
- ・犬がのびのび遊べるドッグランが市内にほぼないため。
- ・谷山の高架下の遊歩道で、ペットの排泄物が処理不十分で頻繁に見ることがあるため。

問 34 【問 3 2 で「必要ない」とお答えした方にお伺いします。】

必要ないと思われる理由を教えてください。(いくつでも)

「設備や管理に費用がかかると思うから」が 66.1%と最も高く、次いで、「民間のドッグランで十分だと思うから」の 57.6%、「フン尿の放置など、飼い主のマナーが守られないことが心配だから」の 49.2%の順となっている。

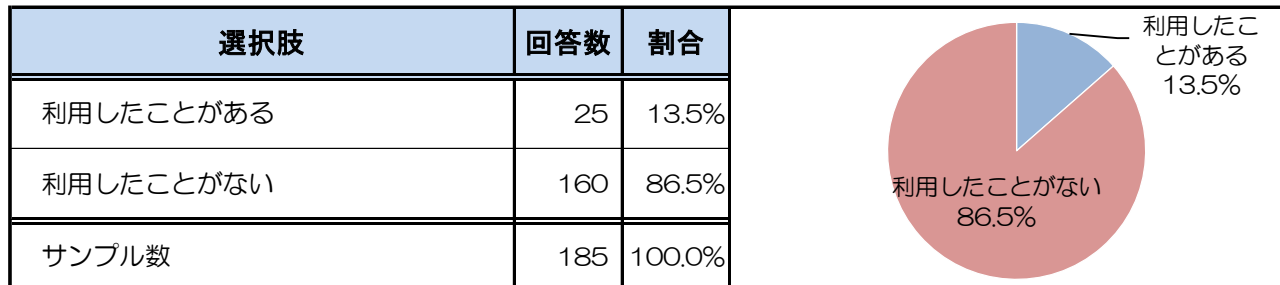


◆その他の回答 (原文まま)

- ・犬を飼ったことないのでよく知りません
- ・キレイだから
- ・ぜんそくの発作がひどく、のどがいがいがするからです。
- ・なぜ必要？ 普段の散歩では不十分でしょうか？
- ・利用している人を見かけない
- ・市営にする理由はなんですか？
- ・鹿児島市（自治体）としてペットを飼っている飼い主から、ペット税を徴収するべきです。鹿児島市として活動するなら、税の徴収を行ってから、その税収でドッグランなどの設備の建設、維持管理を行って下さい。ペットを飼っていない人間を巻き込まないで下さい。
- ・税金を使ってまで整備する必要があるのか疑問があるから
- ・動物が苦手なので
- ・民間でされているところがあるのであれば、わざわざしなくてもよいと思う。もし作るとなれば、1ヶ所というわけにもいかないだろうし、経済的な負担が大きいのでは。

問 35 【犬を現在飼っている方、または以前飼っていた方にお伺いします。】
今までにドッグランを利用したことがありますか。(ひとつだけ)

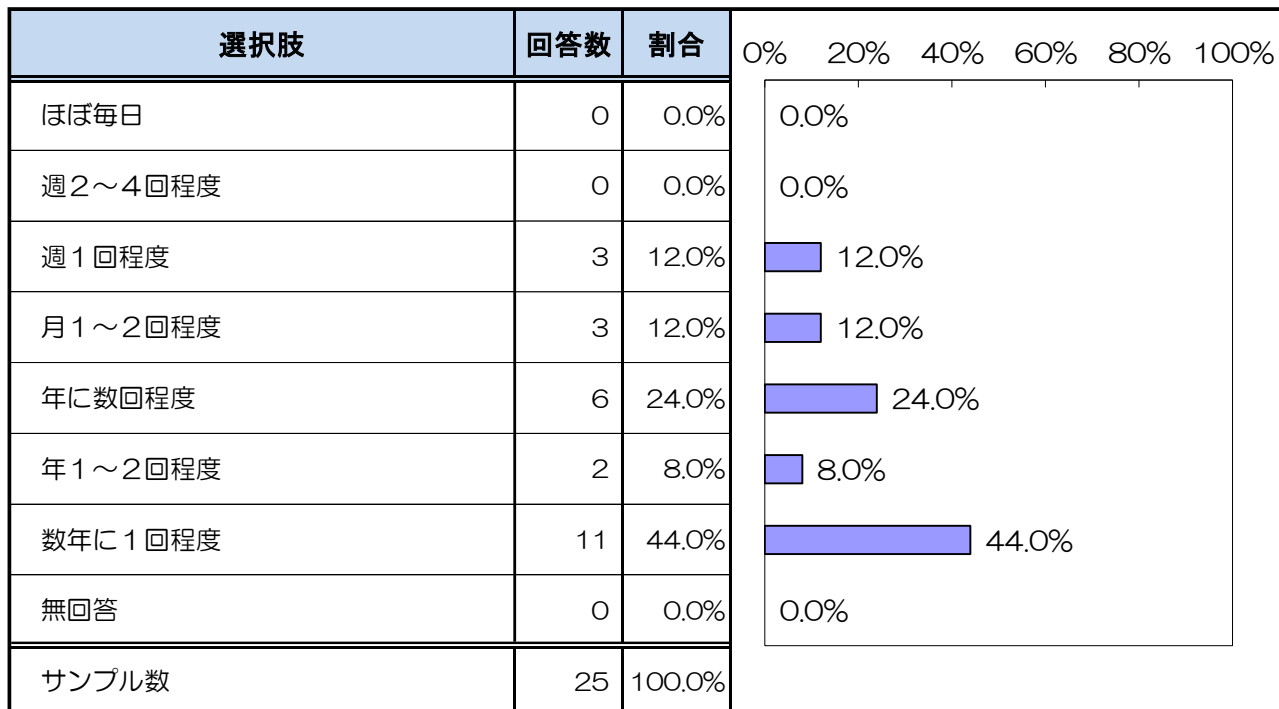
「利用したことがある」が13.5%、「利用したことがない」が86.5%となっている。



※ 回答している方のみ抽出しています。

問 36 【問35で「利用したことがある」とお答えした方にお伺いします。】
どのくらいの頻度でドッグランを利用していますか？または、利用して
いましたか？(ひとつだけ)

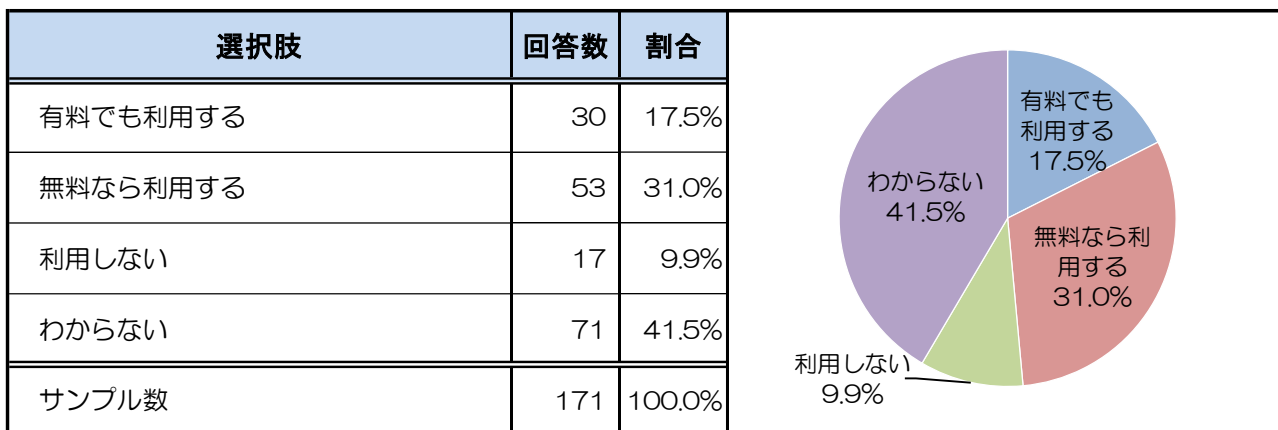
「数年に1回程度」が44.0%と最も高く、次いで、「年に数回程度」の24.0%、「週1回程度」
「月1～2回程度」の12.0%の順となっている。



問 37 【犬を現在飼っている方、またはこれから飼う予定がある方にお伺い
 します。】

市営のドッグラン施設が設置された場合に利用しますか？（ひとつだけ）

「わからない」が 41.5%と最も高く、次いで、「無料なら利用する」の 31.0%、「有料でも利用する」の 17.5%の順となっている。

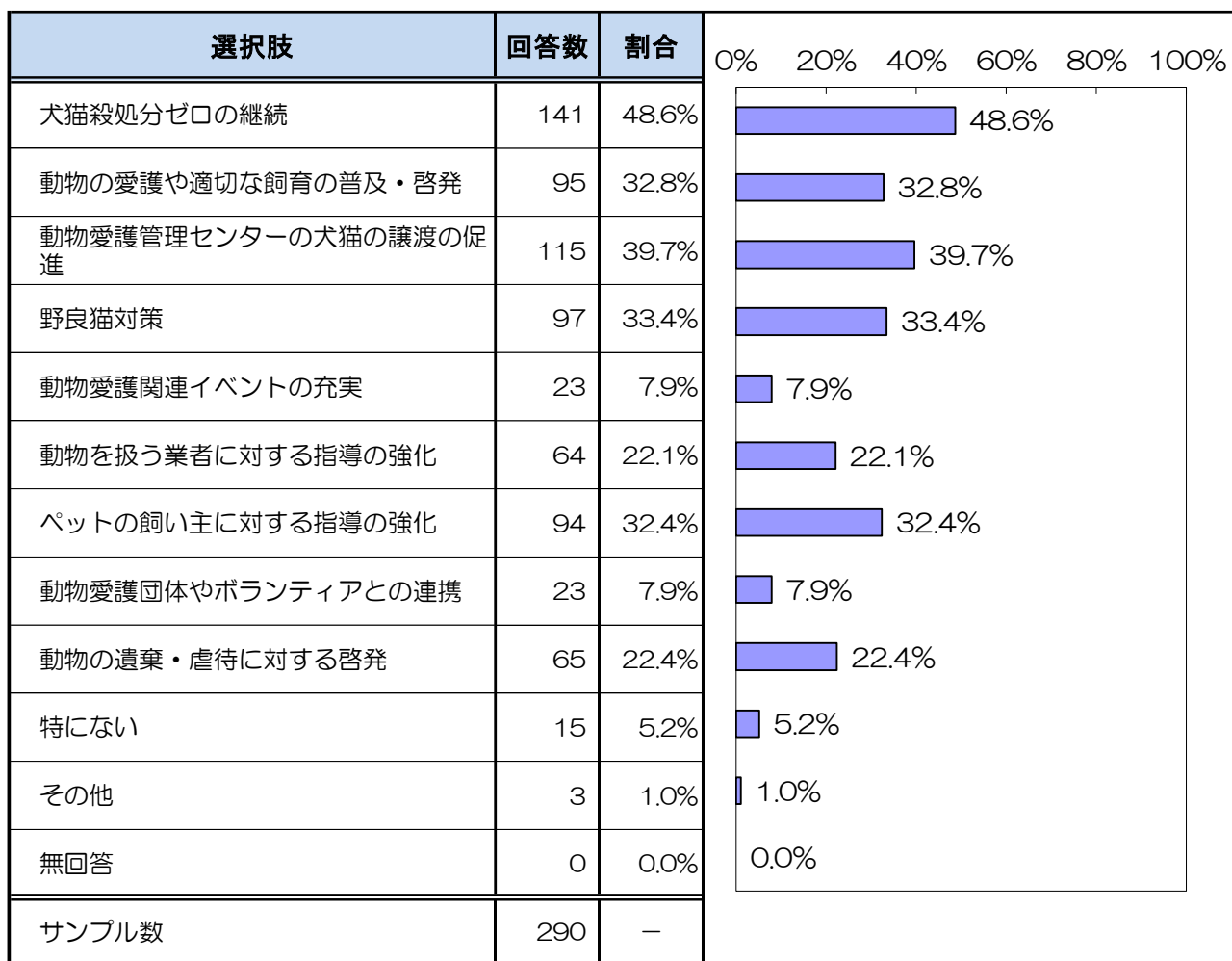


※ 回答している方のみ抽出しています。

問 38 【市が行う動物愛護管理に関する取組みについて】【問 38 からはすべての方にお伺いします。】

動物愛護について特に力を入れてほしい取組みは何ですか。(3つまで)

「犬猫殺処分ゼロの継続」が 48.6%と最も高く、次いで、「動物愛護管理センターの犬猫の譲渡の促進」の 39.7%、「野良猫対策」の 33.4%の順となっている。



◆その他の回答（原文まま）

- ・チップを体内に入れず、識別する方法を見出し管理すること。
- ・ペットに優しい都道府県のランキングだと鹿児島市は全国的にかなり低いので、ペットを飼う人にも魅力的な自治体になって欲しいと望みます。
- ・糞尿問題に対する罰則を設けてほしい

問 39 鹿児島市の動物愛護管理行政について、ご意見・ご提案等ございましたら自由にご記入ください。(任意回答)

◆回答一覧(原文まま)

回答内容	性別	年代	地域
犬の登録及び狂犬病予防注射時に、条例リーフレットを必ず配布し犬の適正管理に努めてもらいたい。	男	70歳以上	伊敷地域
今まで動物ペットを飼ったことが無いので(地域もペットを飼っている方が少ない)意見等はありません。ただニュースなどで放置・虐待などの事件等を見ると買う側のモラル・道徳心に問題があり飼うからには愛情をもって責任をもって面倒を見ることが肝心ではないでしょうか。	男	60歳代	中央地域
これから鹿児島市の動物愛護管理行政の取組について考えてほしいです。いろんな知恵が生まれると信じています。	男	40歳代	鹿児島市以外
コロナ前はかなり犬猫譲渡会など盛んだった気がするが、コロナ後減ったような気がする。ネットでも譲渡のサイトがあるのでもっと知ってもらおうといい。	女	60歳代	中央地域
市の中心にドッグランを作って欲しい。吉野公園、又はドルフィンポートあと地の一部に作っていただきたい。西陵校区に500匹の犬がいるそうです。犬といっしょに遊べる場所があるといいなと思います。西陵8丁目にほとんど使われない公園があります。ほとんどの老人が犬や猫から“いやし”をもらっています。	女	70歳以上	中央地域
どういう活動をされているか、知らない。	女	50歳代	谷山地域
動物ペットの飼い主に対する指導(注意義務がなまぬるい(行政が)野良猫に対するエサやり人に対する対策がなまぬるいため犬猫殺処分はなくならないと思う。自分の家で飼うのをせず野良猫にあるいはハト類にエサやりをしている人がいるが	男	70歳以上	桜島地域
ドッグカフェやドッグラン施設を鹿児島にもっと増やしてほしい。	女	30歳代	伊敷地域
ドッグラン、動物愛護、情報を得られないためどこでどのような対策してるとかわからないので、もっと情報取得が、容易になるように市からも発信して欲しい	女	60歳代	谷山地域
ドッグランなど市営はいき過ぎだと思う。動物は好き嫌いがある物だから、それに市が運営するのはいかがかと。ペットの飼い主に対して指導とか、注意点とか、伝えていって、ペットを飼う心得みたいな物をちゃんと伝える事かな?	男	60歳代	郡山地域
なんでもかんでも動物を大事にするばかりではなく、害獣駆除を実感することも大事ではないか。害獣駆除も動物愛護の一環だと思う。	男	40歳代	中央地域
のねこが近隣にたくさんいて、庭にうんこをするので大変困っています。薬液や物理的対策などしているが効果が無いです。また、散歩をしていると、野猫の餌や糞と思しきものがあちこちあり、不衛生に思えます。野猫を市で管理してもらえないでしょうか	男	50歳代	松元地域
放し飼いのネコのフン・尿被害に、とても困っています。たまに、車とぶつかりそうになっていたり、車の下でねていたり・・・。年配の方が飼っており、マナーが古いままなのか?ネコがかわいそうです。	女	30歳代	谷山地域
ペットと一緒に同行避難が出来る事を知る事が出来て良かったです。ペットを飼ってる方に教えてあげたいと思いました。	女	60歳代	吉野地域

回答内容	性別	年代	地域
ペットの災害時の避難についてですが実家が熊本自身で被災しております。実家の飼い犬も人と同じく避難しましたが、地方自治体によりペットを同行OKの避難所、人とは別の場所（ゲージ）で過ごす避難所、ペット不可の避難所など対応は様々でした。うちの犬はゲージ内で一時家具の下敷きになったので余震でガタガタと震える様になりゲージに入らなくなった為、人との同伴OKの避難所まで情報を頼りに転々としたそうです。結局満床だったので1か月近く車中泊でした。鹿児島市でもペットOKの避難所を事前に決定して動物病院などで周知しておけば有事の際に混乱を招かずによいのではないかと思います。（ほかの避難所に行ってもペットOKの所を案内できる様にしておくなどでも良いです。）事前に来ることから始めておくことが災害の際は良いのかなと感じました。	女	30歳代	中央地域
ペットの散歩をする時や排泄させる時のマナーの強化を強くお願いしたいです。	男	70歳以上	谷山地域
ペットは飼っている人にとっては、家族同然です。でも、そうではない人ももちろんいて、認識にずれがあるのは感じます。動物に生存権、幸福になる権利を認めるのは簡単な問題ではないですが、とりあえず飼主の義務は、果たして行きたいです。	女	40歳代	喜入地域
ホームページに毎日更新される保護犬猫情報が欲しいです。	女	40歳代	中央地域
まだ来てまもないので何とも・・・ペット会社の実体を広く伝えるべきたしかドイツとかはすすんだ考えだった。せからしいと思われるかもだけど100均のグッズも安易に利用すべきでないと思うけど・・・かわいかったり安かったりすると買ってしまう・・・もっと物を大事にした方がいいとは思うけど・・・SDGs的にはプラごみもリサイクル率は高くても殆ど燃やしてる話だし	その他	50歳代	中央地域
マンションでのペット問題でも難しい、飼いたい人、生理的に受けつけない人、色んな人がいるなかで、飼うと決めた人にはさうとうの覚悟を要求する。ペットショップ、ブリーダーなどの責任を明確にすることが大切では！	男	70歳以上	中央地域
みんながルールを守る様になればいいのにと 생각합니다。	女	40歳代	吉野地域
もしペットを同行して避難所に行く場合は、他人への迷惑がかからないように飼い主の方は、普段からしつけを行って欲しいと思います。	男	29歳以下	吉野地域
よくテレビで見かけるのは何か事が起こってから行動していることが多い（多頭飼育、野良猫のエサやり）のでそれが起こる前に見回り活動をして防いでいくことをしたらいいのかなと思う。鹿児島市が力を入れていたら申し訳ないです。	女	30歳代	喜入地域
以前、飼っていました。私の精神安定剤になってました。まだ次の子を飼いたい心境にはなっていないけど、次飼いたいと思った時は、譲渡会をのぞいて見たいと思っています。	女	50歳代	伊敷地域
何匹も買っているのに衛生的管理ができていない家庭への指導や対策をしてもらいたい	女	30歳代	谷山地域
家の中に猫が入り込んで子供を産んだことがあり、猫の撤去をお願いしようとして連絡したことがあったが、そういう猫は地域猫で処分等出来ないと初めて知った。地域猫として猫に餌をあげる人がいるのは分かるが、地域猫が家の土間に糞をしたり、家の中に入り込んで子供を産んだりした場合は費用や対策をしっかり行って欲しい。	男	50歳代	伊敷地域
我が家の犬は、もう高齢になったのでもし亡くなったら・・・と、その時の事を考えるようになりました。お墓ペットロス・・・そういう不安があります。	女	60歳代	谷山地域

※ 性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
害獣、害鳥、野良犬、野良猫、外来生物は生態系維持以上に増えた場合は、殺処分を推進すべきです。動物愛護は人間が行っている偽善の1つであり、そこに自治体がお金を使うのは間違いです。自治体は管理している地域の生態系維持のために、不要な動物は殺すか食料にするかを考える事に徹して下さい。	男	40歳代	郡山地域
街中に犬を連れて行くなど、動物と一緒に行動する文化がもともとあまりないのだと思う。しかし、そうすることによって街の清潔さや秩序が守られてきたのも事実。基盤もないのに急速に海外などの真似をする必要もない気がする。パリが犬の糞でどれだけ汚い街になってしまったか。膨大な人件費をかけて専門に清掃する人を手当てする覚悟がない限り、無理をする必要はないと思う。街路樹の落ち葉と同じ話。	男	60歳代	中央地域
吉野公園をペットの散歩を可能にしてくださいってすごく嬉しかったです。今吉野あたりのドッグランは遠いし高いしで行きたいけれど行けない状況です。ぜひ吉野公園にドッグランも作っていただけると嬉しいです。毎週行きます。広くて、いくつかに分かれていると小型犬、大型犬に問わず気持ちよく使えると思います。よろしく願いいたします。	女	30歳代	吉田地域
金銭的に余裕が無くペットを飼うことができない家庭や、賃貸事情で飼えない家庭もある中で、市営のドッグランは必要ないと思います。ペットを飼われている方は金銭的な負担があることは承知で飼われているはずです。ペットのために使う税金があるなら、子育てや福祉に回して欲しいです。野良猫や野良犬が少しでも減る為の保護施設なら必要だと思いますが。	女	40歳代	谷山地域
犬猫等のペットではないのですが、鳩が庭木になんども巣を作りに来るので困ってます。とんびからも怖い目にあいました。	女	60歳代	吉野地域
犬や猫を飼うには保険がない場合、相当な出費が必要であることや飼い主の年齢から飼えなくならないようにペットを飼う前にペットを飼う心得を指導して貰いたい。公園を除いて子供達がみんなでわいわい遊ぶ広場もないのにドッグランを設けることは時期尚早だと思う。危険なペットを可愛いというだけで飼い始め、危険になって放つ人がいないように指導して貰いたい。	男	60歳代	吉野地域
犬を散歩させる人が多いが、まだまだ人の家の庭先で飼い犬が糞をしても取らずに立ち去る人もいる。飼い主のマナーを何とかしてほしい。また猫の糞尿の始末にも困ることが有る。	女	50歳代	中央地域
犬を散歩させる方々にお願いがあります。糞は取られるのですが、尿をした時は水をかけて臭いを消してほしいです。	女	60歳代	中央地域
犬を繁殖させることを目的としていた場所が、臭くて鳴き声もひどかったです。風向きによっては悪臭がただよってきてたので、どうにかしてほしいと思ってましたし、この中に何匹いるのだろうと思ってました。今は犬がいなくなったようで静かですが、いなくなった犬たちのその後が逆に気になります…生きていればいいですが。	女	40歳代	吉野地域
現在住む地域が避難指定されたことがないために、避難所へのペット同行義務について知らなかったことは不勉強でした。	男	60歳代	吉野地域
個人的にはペットは家族になり得ると思うが、それがユニバーサルだとは思わないし、動物が苦手な人にとってはドッグラン設備は不要だと言う意見は必ず出ると思う。今の公園もキャッチボールだめ、ゴルフだめ、少子化で誰もいない公園に何をするために整備管理しているのかわからない部分も多い。殺処分は悪だと思うし、無くさないといけない施設だと思うので、公園管理にいくらかかるとか、どんな動物が殺処分されているとか情報を発信し、たくさんの方が関心をもてば、施設作成の優先順位も議論されたり、動物愛護の意識、意見も出てくるのではないだろうか。市報が届いても見にくいし、興味をわかせる紙面作りなど工夫が必要。今は即調べて分かる事実が多いが、調べに至るネタ振りをもっと出すべきだと思った。	男	50歳代	中央地域

回答内容	性別	年代	地域
公園でのハトへの餌やりを規制すべき	男	30歳代	中央地域
公園での野良猫、野鳥等へのエサやりを厳しく取り締まって欲しい。衛生的に悪い場所がある。	女	30歳代	中央地域
行政がどんな取り組みをしているかが目にみえないので、広報活動を推進して欲しい。	女	50歳代	中央地域
行方不明になった時の写真は、各方面から撮影し掲載して欲しい。	女	29歳以下	吉野地域
今、買っている犬は里親を探す会から譲渡してもらいました。一匹でも多く処分される犬猫が減ったらとの思いで動物管理事務所や里親を探す会を何回も見て回り、やっと出会えた犬です。可愛くて仕方がありません。大事に育てています。活動をする団体に県や市から補助があるのかわかりませんがそういう団体を応援してあげて欲しいです。	女	50歳代	伊敷地域
桜島の野良猫に、誰かが餌をあげて飼っている。観光地でもあるので餌のプレートを散らかしたままとかやめてほしい。	女	30歳代	桜島地域
殺処分しないことは大事だと思う。高齢者が動物を飼えなくなり手放さざるを得ないケースなどもあるので、マッチングや受け皿などが整備されるといいと思う。	女	30歳代	中央地域
散歩のさいのマナーが全然ないひとが多いひとの家の中に糞をさせたりする可愛がってあえるのはわかりますが人に迷惑をかけてはいけないちなみに高齢のかたは時代的にさせたらそのままだったのかも難しい問題	女	60歳代	伊敷地域
思いつきません。	女	40歳代	谷山地域
飼われる方のマナーが大事だと思います	女	60歳代	中央地域
鹿児島市に居住する前は犬を飼っていましたので、ペットは家族という認識です。災害時には一緒に避難するか、自宅に留まるか、共に行動するのは飼い主として当然だと思いますが、避難所では他の方へ迷惑がかりそうで心配な面はあります。同行避難が原則という点を周知するもともに、飼い主へのマナーの啓発も必要と思います。	女	40歳代	谷山地域
鹿児島市に動物愛護管理行政を推進して頂き感謝します。私は子どもの頃から、実家で犬や猫を飼っていて(ほぼ猫ですが)、育ててきていて、家族と同じペットですので、動物のカワイさやしつけの大切さ、えさの栄養面、えさ代やペット関連の費用面、ケガや病気をしたときの面倒見の大変さなど、人間と同じで一生を通し、生死を学ぶ大事なことだと思います。	男	40歳代	吉野地域
鹿児島市は保護犬猫の譲渡会等イベントが少ないように思います。もしくはイベントの情報が回ってきていないのかもしれないかもしれません。今これだけのワンちゃん猫ちゃんの飼い主を探していますとか、いついつに譲渡会がありますとか頻りに情報が入るようになったら是非参加したいと思います。	女	30歳代	吉野地域
住んでいる地域は野良猫がすごく、野良猫だけであれば問題ないのですが、野良猫に餌をやり、その餌のゴミをそのまま放置されているので、公園の隅に猫の餌のゴミがすごいです。どうにかしてほしいです。	女	40歳代	中央地域
譲渡会などをもっと行なってほしい。他にも、散歩がしやすいように、歩道を広くしてほしい。	女	29歳以下	中央地域
譲渡会など定期的にやって欲しい、子供が動物をふれあえる場所などを動物園だけじゃなく、公園と犬猫カフェみたいな気軽に行けるような施設を作って欲しい。	女	30歳代	吉田地域
譲渡会の件数が増えると良い。	女	30歳代	吉野地域

回答内容	性別	年代	地域
通勤途中の路地にフンは持ち帰りましょうの色あせた看板が立っている場所があります。持ち帰りが当たり前なのにルールを守ってもらう方法や新しい看板の配置などされないんですか？	女	40 歳代	伊敷地域
特に住宅地でのマナーの悪さに驚く。登録とマナーの講座を義務にして欲しい。	女	50 歳代	伊敷地域
猫は室内で飼うことの普及。	男	70 歳以上	吉野地域
猫を飼っています。避難のためにゲージなど準備していますが、うちの猫は音などに敏感です。避難所でのしつけとどこでも言われますが、思うようにいかないのではと考え、心配しています。	女	50 歳代	吉田地域
保護猫の去勢や避妊手術の補助の手続きを、もっと個人でも登録出来る様にして欲しいです。個人で登録出来たり、近くの登録者を紹介して協力して、一緒に取り組めたら良いと思います。	女	50 歳代	中央地域
野良猫が多くて困っている。地域猫ではない猫に餌だけをあげて可愛がっているつもりの人間がいて困っている。家の庭に糞尿を垂れ流されて困っている。猫の処分ができないのであれば、身勝手に無責任な飼い方をする住民に対する罰則を強化してほしい。野良猫を寄せ付けないようにする薬の配布や機械のレンタルなど行なってほしい。勝手に侵入してくる猫のために、自分のお金を使って対策をするのはうんざりである。	女	30 歳代	谷山地域
野良猫には本当に迷惑しているので、捕獲までお願いしたいです。そういった事にお金を使っていたきたいです。	男	40 歳代	伊敷地域
野良猫を良く見ますが飼ってる人はちゃんと去勢手術をしてほしい。	その他	30 歳代	中央地域
野良猫対策	男	70 歳以上	谷山地域
野良猫対策をどのように行っているのか、大々的に市報で知らせてほしいと思う。かわいそうだからと言って餌をあげるとどうなるかも告知したほうが良いと思う。繁殖の時期になると、近所で毎年ネコの大会が始まる（ペットの猫も含めて）ので、何とかしてほしいと思う。	女	40 歳代	谷山地域
余り関心ありません。	男	40 歳代	中央地域
わからない	男	30 歳代	喜入地域
特に無い	男	50 歳代	中央地域
特にありません。	女	60 歳代	吉野地域
特にありません。	男	50 歳代	吉野地域
とくになし。	女	40 歳代	伊敷地域
なし	男	50 歳代	桜島地域